

会長のページ	平和について（平穩無事）	河野 雅行	3
日 州 医 談	地域医療構想・第8次医療計画の動向を考える	池井 義彦	4
新 春 随 想（その2）	莫根 隆一, 早稲田芳男, 関本 朝久, 高尾 雄平, 遠藤 豊, 大森 史彦, 岡村 樹里, 堀之内和代, 長嶺 元久, 上山 貴子, 室井 栄治, 増田 好成, 加嶋 亜紀		6
エコー・リレー（570）	田中 宏幸, 藤田 晴吾		17
メディアの目	過去のニュース原稿から浮かぶ「3年前の宮崎」	井上 豊	18
身近なお困りごと相談室	高山 桂		19
宮崎大学医学部だより（感染症学講座－免疫学分野－）	佐藤 克明		24
外来感染対策向上加算について	眞柴 晃一		28
宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員名簿（医科）			31
診療メモ	点眼薬を処方する際の注意点	中山 恵介	60
宮大医学部学生のページ	地域で医療をするということ	冨永 碧	62

あなたできますか？（令和3年度医師国家試験問題より）	16
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会だより	22
各種委員会（医学賞選考委員会）	26
令和4年度医師会立看護学校担当理事連絡協議会	27
日医インターネットニュースから	32
医師国保組合だより	34
会員の異動・変更報告	36
理事会日誌	38
県医の動き	42
ドクターバンク情報	43
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
ベストセラー	58
あとがき	70

お知らせ	女性医師の皆様へ（マタニティ白衣無料貸出）	15
	医療勤務環境改善支援センター	25
	宮崎県医師会メーリングリストのご案内	26
	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	35
	国民年金基金のご案内	41
	日州医事へのご意見・ご感想	47
	第31回日本医学会総会	59
	郡市医師会への送付文書	64
	医師年金ご加入のおすすめ	68
	日州医事原稿募集のお知らせ	69

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

white pigeon for peace

ウクライナでの悲惨な戦争に対して一市民の私に何ができるか。悩んだ末、筆を取りました。この絵を見た方が少しでも関心をもってくだされれば幸いです。ニュースを見ていつも自分の無力さを感じますが、それでも自分のできることを模索していくしかないのでしょうか。鳥にとって人間の定める国境は無意味で空は繋がっている、そんな思いです。

宮崎市 松本健吾

会長のページ

平和について（平穏無事）

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

短期間で終わるとの目論見が外れてロシアによるウクライナ侵攻が長期化し、国際情勢も絡んで複雑化しています。専門家の想定すらも二転三転しているように、現代戦争の推移には定型的なパターンはないようです。極論は世界大戦に発展すると危惧する専門家もいます。惨憺たる街並みや施設のニュースを見て普段は考えたこともない平和なわが国の有難さを再認識しました。現地では明日どころか数分先をも知れない環境におかれた人々の心境はいかがなものでしょうか。イギリスの詩人であるロバート・ブラウニングは「すべて世は事もなし」と、十八史略では「鼓腹撃壤」とあるように、古来より身近に感じられない政治が最良の治世であると述べており、平和で平凡な日常生活の有難さは洋の東西を問わず同じと思われます。と言っても政治に無関心ではあらぬ方向に向かうし、行き過ぎたポピュリズムにも問題があります。

わが国は先の敗戦後、米国の庇護下での平和が続いています。これは独立国家としては特異な形かもしれません。それでも治安がよく安全な国と言われ、私を含めて戦争を知らない世代が国民の大半を占め平和ボケとも揶揄されています。しかし、近隣には話し合いや常識が通用しない国々があり、常識外れの行動に対する我国の方針は抗議のみです。昨年10月に北朝鮮のミサイルが日本の上空を超えたようですが、もし国土に飛来すれば訓練を受けていない私たちはいかなる行動を取るべきかを知りません。国際社会に訴えて調停がなされてもそれまでに失われた命は戻りませんし、これを最小限の被害として片づけられてはかないません。最終的には国民にしわ寄せが来ますので、指導者の選択は重要です。

また、3年にわたるコロナ災禍でも社会が混乱しましたが、経済との兼ね合いもあり効果は満足できるものではありません。その他多くの自然災害が猛威を振り、被害が生じては対策を行うということが繰り返されています。想定される事態に予防策を取るべきところを、議論や評論ばかりでは被害の防止はできません。戦争も一種の災害と見做して平和を維持するためには備えが必要です。わが国では戦争のない世界を理想として長年議論が重ねられてきました。これは素晴らしい理念です。しかし、議論や抗議のみでは効果は疑問です。全世界的な協議の場としての国連も声明を出すのみで効果は限定的で、その声明すらも満場一致とはならないようです。

ウクライナ侵攻のニュースを見て平和について考えさせられました。

（令和5年1月16日）

日州医談



地域医療構想・第8次医療計画の動向を考える

宮崎県医師会 常任理事 いけ い よし ひこ
池 井 義 彦

地域医療構想が推進され、2024年度からの第8次医療計画の検討が進められている。この中で、いわゆる5事業に6事業目になる新興感染症対策をどのように組み入れていくかが注目されている。感染拡大に対応可能な医療機関・病床等の確保、感染拡大時を想定した専門人材の確保、医療機関の間での連携・役割分担等の対策が必要となる。新型コロナウイルス感染症への対応などがまだ十分に検証されていない中で、新興感染症対策の新たなルールがつけられようとしていることに大変懸念を感じている。今後の感染症法に基づく議論の推移に注目していきたいと考える。

地域医療構想は、まずは2025年に向けて進められており、全世代型社会保障構築会議の中間整理のなかで、2040年に向けて更に検討していくことになっている。

地域医療構想は、当初超高齢化社会にどのように対応するかが目的だったが、依然として病床数の削減の話題が中心に動いているように思われる。集約化による効率的な医療提供も大切ではあるが、病棟ごとの機能ではなく、もっとそれぞれの地域の特性に応じた病院の機能に注目した議論を行うべきだと考える。

これまで、病床機能報告が実施され、令和4年度から外来機能報告が始まっている。また、かかりつけ医機能の検討も進められており、今

後医療の在り方については十分に考えていく必要があると思う。

また、第8次医療計画等検討会では、全国の医師偏在の是正を目指す「医師確保計画の見直しに向けた意見のとりまとめ」が大筋で了承された。

これは、医師偏在指数より、「医師少数」、「医師多数」、「それ以外」の県・区域を把握し、医師少数の県・区域の医師数を増やすことなどを主要な目的としている。今回の見直しでは、診療科間の偏在は考慮されておらず、精緻な指数になっていない。また、医師少数スポットの設定は市町村単位となっているため、大学病院等を有する市町村は医師多数と判断されることになる。このような指数を機械的に適応するのは問題があり、避けるべきだと考える。今後、医学部における地域枠・地元出身者枠の設定やシーリングを含め、慎重な議論に期待する。

令和4年4月より、地域における外来医療に係る病院および診療所の機能の分化及び連携の推進のために外来機能報告の制度が実施された。

外来機能に関しては、地域医療支援病院制度が始まった際は、紹介を中心に診療を行う医療機関とされていたが、地域医療構想で公的に位置づけされたり、新興感染症対策での役割など、本来の目的とは異なってきたように思われる。外来機能報告の中で、医療資源を重点的に

活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関として「紹介受診重点医療機関」がつけられた。両者とも紹介率の規定があり、どのような違いがあるのか不明な点が多いように思われる。

かかりつけ医とかかりつけ医機能の検討が行われている。「かかりつけ医機能」を医療法に明記して医療機能情報提供制度を拡充するとともに、「かかりつけ医機能報告制度」を創設して医療機関がさまざまな医療ニーズに対応する機能を都道府県に報告、ニーズを満たさない場合は地域で協議して強化を図る、というものである。

現在、かかりつけ医機能についての法律の規定はなく、医療法に基づく医療機能情報提供制度の対象として、省令で「身近な地域における日常的な医療の提供や健康管理に関する相談等を行う医療機関の機能として厚生労働大臣が定めるもの（以下「かかりつけ医機能」という）」と規定されている。現在、厚生労働大臣告示で8項目を定めているが具体性に乏しく、理解しづらいとの指摘があり、今後の情報提供

項目として、対象者の別（高齢者、子どもなど）、日常によくある疾患への幅広い対応、医療機関の医師がかかりつけ医機能に関して受講した研修など、入退院時の支援など医療機関との連携の具体的内容、休日・夜間の対応を含めた在宅医療や介護との連携の内容など、国民・患者目線で分かりやすいものに見直す、とされており、今後更に検討されていくとされている。

かかりつけ医機能と外来機能報告制度とは、非常に関連があり、地域包括ケアシステムとも関係することであり、地域において全体的に議論していく必要があると考えている。かかりつけ医の規定は今後議論されていくと思われ、注目していく必要があると考えている。

地域医療構想は全国一律の規制で行うのではなく、地域の実情に応じた検討を行い、効率がよく質の高い医療提供体制を構築していく必要があると考えている。

8次医療計画策定において、さまざまな問題に関して、しっかりと精査し、地域の実情に応じた計画となるように努めていただきたいと思います。

新春随想

その2

新春随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

かわいくない猫

小林市 整形外科押領司病院 あぐねりゅういち 莫根隆一

来年年男ということで原稿依頼がありました。年男とは直接関係はありませんが、十二支に入れなかった猫の執念深さを、昨年末、体験しましたので語りたと思います。

高原町立病院の定年退職にともない、病院官舎を退出し中古住宅を購入しました。車三台が駐車できる大きなガレージと地下室のある倉庫があり、秘密基地みたいな感じがして気に入りましたが、ここが猫の隠れ家になるとは思いもよりませんでした。最初は朝、猫が天井を歩き回ったことで車にホコリがかぶっている程度でしたが、だんだんホコリの量が増え、車の上に駆け上った爪跡、車の下に水たまりがみられるようになり、そして最後には車の下に限って床に固形物がみられ、はっきりと猫の仕業だとわかりました。

2週間後の夜、ガレージの天井の横板に座ってじっと下を見ている黒っぽい猫を見つけました。声を出したり拍手をすると逃げるのですが、翌日にはまた同じ場所で下の様子をうかがっていました。そこで、懐中電灯と箒を片手に梯子を上り、足場の悪い中で屋根裏まで見たのですが、暗い片隅をどんなに探しても猫の姿は

発見できませんでした。しかし、気配は依然として残っているのです。

3日間の攻防にも負けず居座り続けた猫に根負けし、ガレージのシャッターを開け放し逃がしました。その後、猫は攻撃の手を母屋にまで伸ばしてきました。金魚のえさを噛みちぎり、高いところの本を落としたりして、家の中を荒らしました。極めつけは、押し入れに逃げ込んだときです。押し入れのどこを探しても、またもや見つからず、なんとその夜、ベッドの布団の上に固形物と尿をたっぷりしていました。あまりの悪行にあきれ果て、最後の手段として、猫除けの超音波装置を家の外のあちこちに設置しました。その装置の効果があったのか、その後、猫はプツツリ消息を絶ちました。



令和4年の大爆発

宮崎市 早稲田クリニック 早稲田 芳 男

2回目の東京オリンピック開催とかインバウンド激増、その爆買いなど日本経済が右肩上がりの期待に包まれた。もういつのことだったか忘れた。昭和から平成になったときに、大きな事件や災害はあっても、あまりに頻回発生しているせいか、つい1, 2か月前のことなのずっと時間が経って、すでに遠い過去のことと思ってしまう。社会時間が速くなったと表現されてもいた。令和になると新型コロナウイルスのパンデミックが発生し、すぐ終わるとの予想に反して長時間つづき終わりそうにない。3密禁止、マスク社会、都市のロックダウン等々日常生活は激変した。弱者にとっては耐え難い変化である。

産業経済上の変化にGAFAの台頭がある。米国の巨大企業ボーイング社が1兆円の赤字で倒産しようとする中で、新興アップル社は1社だけでその100倍以上の利益をあげたという。一方で、教育改革があり、小学校入学時よりタブレットを使用した能率教育がなされはじめたという。大学講義でも、マイケル・サンデル教授の「熱血講義」が広がっている。あらゆる分野でその道のエキスパートが映像を駆使して作った講義が流れている。まるで大作の映画を創りあげるような予算や人員を使ったものもある。これが全世界に流れるのだ。地方の大学なんて存在意義をなくすだろう。一流大学だってうかうかしておれない。学生にとってよいことなのか。私の知らないスマホ社会になって久しい。スマホで全人類をあやつる世界となり、暗号資

産、量子コンピュータと突き進んでいる。

もう10年以上も前の話になるが、トヨタ自動車を世界最大・最強の会社にして渡辺社長の退任の挨拶が紹介されていた。その要約は、最大・最強の会社になっても安心は禁物と、地球史の中の恐竜時代に小さすぎて踏み殺されそうだった哺乳類の我々の祖先は、その後の環境の変化にうまく適応して生き残ったと。会社にとって今後必要なのはその適応力であると。

私はそのときカンブリア大爆発を思い出していた。大雑把に言えば、恐竜時代は1, 2億年前、カンブリア紀は5億年前のことである。当時の地球上では進化生物学上の大爆発・大淘汰があったにちがいない。地球上の人類とは、ホモ・サピエンス一種のみという。誕生以来、30万年とも言われるが、もっと優位にあったと言われるネアンデルタール人と交雑しながらどう生き延びたのか疑問は多い。集団力が優位であったという説もある。ホモ・サピエンスはアフリカ原産と言われるが、有史以前に北はエスキモーから南はアボリジニに至る全地球への広がりには驚くべきである。更に、インドネシアや南アメリカ等々で私の知らない文明の大爆発と消滅を繰り返した遺跡は発見されている。どのような適応上の問題があったのだろうか。

現在の我々はその全歴史上の文化・文明の中で、この1年間だけでもその数万倍にも及ぶ変化の嵐の中にいることは確かである。明日をどう生きるかというのではなく、今日をどう生きるのかが問題となっている。これはもう恐怖そのものだ。歴史を俯瞰した神ならこれは言う、「令和4年の大爆発」だと。

電気自動車に乗って

日向市 せきもと整形外科 関 本 朝 久

新年明けましておめでとうございます。今年こそはコロナが終息し、世界が平和になって、穏やかな日常が戻ってくることを祈っております。

私は令和2年7月に故郷の日向市で開院しました。その際に電気自動車（PHV車）を購入しました。当初の一番の目的は、ガソリンの使用量を減らすことでした。昨今話題になっておりますSDGsにも貢献できればと思いました。電気自動車に乗り換えて2年半、果たしてその目的は達成できており、以前は毎週ガソリンスタンドで給油していたのですが、現在は2か月に1回程度に減少しております。ガソリンの使用量をかなり削減できて、大変満足しております。

そんな中、実はもう一つ、私も予想だにしていなかった嬉しい効能がありました。最近の車は、運転席のモニターが大きく、いろいろな項目が表示されて快適に運転できます。前方車両が近づいたり、車線を越えるとアラームが鳴ったりもします。モニターには、電気での残り走行距離、平均燃費も表示されています。最初は確認するだけだったのですが、日が経つにつれだんだんその値が気になるようになってきました。少しでも電気での走行距離を伸ばしたいと思うようになったのです。

電気ですので、スピードを上げると直ぐに電気は減っていきます。追い越しをしようものなら一気に減ってしまいます。私はすっかりスピードを出さなくなりました。もちろん流れに合わせて運転しております。お陰で平均燃費は70km/Lを超えるとときもあります。到着時間は

5分も変わりません。私は以前にも増して安全運転になったと思っております。

このような状況に、私は電気自動車に換えて本当によかったと思っております。車を換える際には、ぜひとも電気自動車も候補に挙げられることをお勧めいたします。最後に、今年も皆様の交通安全をお祈りいたします。

ストレス

延岡市 タカオ眼科 高 尾 雄 平

最近手術に臨むにあたり強いストレスを感じるようになった。何か問題があるといつまでもくよくよ後悔して夜も眠れない。

11月に出雲大社から松江城へと2泊3日旅行したとき、最終日に一畑薬師にお参りに行った。一畑薬師は目の神様とのことで行っただけで、別に神仏に縋ろうと思ったわけではない。行ってみると結構大きなお寺で、管長自らお経を挙げていただきこの寺の由来をお話しして貰った。当日お参りするだけだと思っていた私はお布施も持って行かなかったのが、帰って来てからお布施をお礼のつもりでお送りした。

それから数日後、お寺から色紙と1冊の本が送ってきて読んでみると、懺悔という項目に、後悔のすすめという本の中に、単なる反省とくよくよ後悔するのは脳科学的にくよくよ後悔し

ているときは脳がよく働き、その結果脳を成長させている。あーすればよかった。こーすればよかったと後悔することで、現実と想像を繰り返して比較しながら、悔しいという感情を何度も思い起こし、このことで悔しさと、二度と失敗したくないという思いが深く記憶される。そして、次からは成功するための工夫をする。

我々の仕事は失敗の許されないものだが、小さな失敗、思いがけない出来事は多々あるもの。この本を読んで少し考えが変わった気がする。手術の際もそれほどストレスを感じなくなったように思う。

2023年もくよくよ後悔しながら、それを成功の糧として仕事をしていきたい。

インフラ老朽化

宮崎市 宮崎生協病院 えん とう 遠 藤 ゆたか 豊

当院が和知川原から大島町に新築移転増床したのが、2002年4月でした。その後20年の月日が経ち、施設の老朽化も進み、雨漏りなどが出始めました。そのため現在、足場を組んで外壁の大規模補修工事を行っています。周囲の病院が新築したり、移転したりと羨ましい限りですが、まだまだ現在の施設には頑張ってもらえないといけません。

日本では高度経済成長期の前後から整備された道路や水道、橋といったインフラ施設が急速に老朽化していて損傷が増え、大きな事故が起きやすい状況です。国土交通省によると2033年時点で建設から50年以上が経過する道路橋（総数：73万橋）は全体の63%、トンネル（総数：1万1千本）は42%、水門など河川の管理施設（総数：1万施設）は62%に達するとか。2012年には中央自動車道の笹子トンネル崩落事故で9人が亡くなり、2021年に起きた和歌山県の水道橋崩落事故など、大きな事故が相次いでおり、東京都でも毎年10件以上の水道管破裂事故が起こっているようです。

安全を保つには定期的な更新が必要ですが、巨額の費用が壁になります。国交省が国内の道路、下水道、河川、港湾、空港などの維持管理・更新にかかる費用を試算したところ、18年度は5.2兆円で、38年度は6.6兆円ほどに増え、48年度までの30年間の合計は195兆円程度と見積もっています。

インフラとは、社会や経済、あるいは国民生活が拠って立つ基盤となる、必要不可欠な施設やサービス、機関、制度、仕組みなどのことです。“infrastructure”は「基盤」「下部構造」などの意味を持つ英単語で、外来語としては「インフラ」という略語が定着しています。

このようなインフラは、医療・福祉・教育などと同じように社会的共通資本と考えられ、人口減少があるとはいえ、老朽化対策は必須です。

税金から成り立つ国の予算では、使ったら何も残らないばかりかインフラをも破壊する軍事費をGDPの2%まで増やすより、これからの日本の社会や住民に役立つもの、社会的共通資本に投資すべきかと考えます。

皆既月食

高鍋町 大森内科医院 おおもりふみひこ 大森史彦

13才、中学1年で天体に興味を持って、爾来50年以上、多くの天体現象を見てきて月食も数え切れないほど経験した。太陽と地球、月が一直線に並ぶと地球の影が月面に当たり月食となるが、微妙な軌道のずれで皆既月食だったり、部分月食、半影食となる。皆既月食の際、地球の大気で屈折した赤い光が月面を照らし「赤銅色」となる。月食のたびにその色は明るかったり暗かったりや変化する。

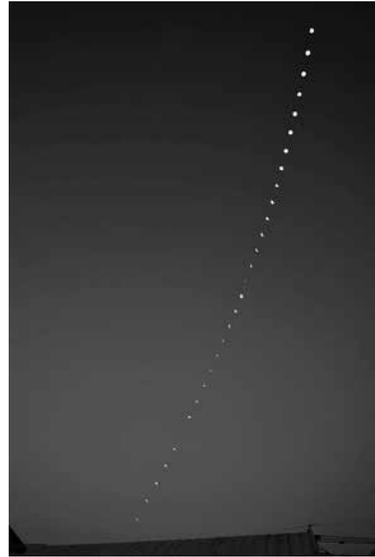
月食を見る最高の方法は何もせずぼーっと眺めることだと思う。刻々と変化する食の状況を楽しみ双眼鏡で月面を眺める。部分食の間地球の影の縁にはターコイズフリンジと呼ばれるきれいな青色の帯が見える。肉眼では見えにくいですが、写真をとるとよくわかる。

2022年11月8日は久しぶりの皆既月食だった。快晴だったので今回は人生で初めて皆既食の連続撮影に挑戦した。オモウマイ店も見ず、児湯内科医会講演会も失礼してベランダでひたすら撮影に及んだ。食の進行に合わせて露出時間を微妙に変化させないといけないので撮影間隔と露出時間の設定には苦労した。努力の結晶を皆さんにお披露目します。一部露出不足のコマもありますが、まあまあのできと自負しています。もう少し撮影間隔を短くしてもよかったかも。

まだ見ていない重要な天体現象は皆既日食とオーロラだ。体が元気なうちに見に行きたい。

原稿を書いているのは12月6日の早朝。ワールドカップサッカーで日本がクロアチアに悔

しいPK負けをした直後。日本チームはここまですぐよく戦ったと思う。しかしチーム全体の技術力の差がPKの結果となったと思う。でも、惜しかったなあ。



踊歴32年目

延岡市 岡村病院 おかむらじゅり 岡村樹里

私の踊歴は3歳から始まり、現在も続いています。母は自分が習いたかったバレエを娘に習わせたいと思い、モダンバレエ教室へ私を連れて行きました。小学校入学を機に延岡へ転居しましたが、こちらではクラシックバレエの教室でしたので、トゥシューズを履いてのレッスンも始まりました。

トゥシューズはポワントとも呼ばれますが、つま先で立つためにシューズの先の方と靴底が

硬く作られています。タイツだけでは足指に負担がかかるため、布やシリコンでできたトウパットを巻いたりしてつま先を保護しますが、まめが破れて血塗れになることも少なくありません。レッスン中そんな状況になっても休むことは許されず踊り続けますので、バレリーナの足指はぼろぼろになっています。見た目の美しさとは裏腹にレッスンはかなりハードでしたが、高校3年生まで週2回のレッスンにはほぼ欠かさず通っていました。

大学生となり上京した私は初めて踊らない時期を過ごしますが、やはり身体が踊りを求めてオープンクラスでのレッスンに参加したりしていました。

しかし研修医になると予定どおりに勤務が終わらず、段々レッスンから足が遠のくようになり、生まれて初めて身体が硬くなるという経験をしました。これではいけないと思い、レッスン再会を考えていた矢先、近所に社交ダンス教室を発見し見学へ行くことにしました。生徒も年配の方が多く、バレエ教室とは雰囲気まるで違うことにも驚きましたが、夜遅くまでレッスンを受けられることが決め手となり、29歳から社交ダンスを習うことになりました。バレエの恩師である伊達由何子先生は、社交ダンスのダンサーでもあり、バレエ教室でチャチャチャを習ったりと、社交ダンスに触れる機会は以前からありました。すべての踊りの基本はバレエと言いますが、15年バレエ漬けの私は何を踊ってもバレエ風になってしまい、腕の使い方一つでも修正するのに苦労しています。同じ教室に90歳代の先輩女医がレッスンに通っています。私も見習い、身体が動く限り踊り続けようと思います。

日日是診療 - 日向編 -

日向市 沼田皮膚科 堀之内 和代



「妻中学校」の名が危うい！

宮崎市 長嶺内科クリニック ^{なが}長 ^{みね}嶺 ^{もと}元 ^{ひさ}久

令和3年8月に西都市教育委員会から「西都市中学校再編計画」という文書が提示された。それによれば、西都市に現在ある「妻」「穂北」「都於郡」「三納」「三財」中学校が令和8年4月1日に一つに統廃合された中学校が新たに開校するらしい。その名は未定であるが、わが母校である「妻中学校」の名前が存続する可能性は低く、「西都中学校」が有力なようである。

そこで、以下、これまで私が「妻」という地名を詠み込んだ歌、および「妻中学校」を詠んだ歌を以下に挙げたい。出典は、一首目から九首目が拙歌集『カルテ棚』である。十首目、十一首目は、短歌結社誌「心の花」令和五年一月号である。

いにしへの^{とうまこく}投馬国とも伝へ聞く妻といふ地
ぞわがふるさとは

妻といふ名の映画館・駅消えぬ社・学舎・
街の残れり

時代劇三本立てを見に行きき祖母に連れられ
「妻東映」に

わが^あ生れし家のかたへを走りぬし妻線いま
や歩道となりぬ

幼き日妻線走りしこの道をまくら木踏みし
ごとくに歩む

妻駅の入場券は新婦らへ妻に入るとて贈られ
にけり

千年の息吹湛ふる「妻のクス」火難を凌ぎ
由由しく聳ゆ

妻北小妻中学は母校なり大き梅檀の樹がい
まも立つ

妻といふ地に生まれたり山越えて肥後に^{わい}隈
府といふ地名あり

ひさびさに訪へば母校の正門は移りてをり
ぬ東から北に

わが母校の名の変はるとふ若草の「妻中
学校」が「西都中学校」に

コロナ禍だからこそ感じたこと

宮崎市 ^{うえ}うえやま ^{やま}貴子クリニック ^{なか}上 ^こ山 貴子

日本で初めてコロナ感染者の報告があったのが2020年1月15日。コロナ禍での生活がここまで長引くとは思っていませんでした。マスクでの生活は春先の花粉症対策として使っていたぐらいでしたが、今やマスクを外さない生活が当たり前の日々を過ごしています。昼食時も各個室に分かれて黙食。しかしながら、診療を慌ただしく行いながら日常生活を過ごしていることに変わりはありません。

ところで、大学在籍中には多くの先生方の指導を受けましたが、私にとっては先輩であり師匠でもある先生が昨年の8月に突然亡くなられたという訃報が届きました。

入局3年目には先生を中心とする実験班に所属させていただき動物実験や論文の書き方など厳しい指導を受けました。そして、平成11年には何とか学位を取得することができました。

デンマークで開催された国際学会に先生と同期と私とで参加したことがあります。私はたくさん荷物を持って行ったにもかかわらず、先生は小さなアタッシュケース一つ。(今でも中に入っていた物は不明です…) 語る言葉は少ない先生でしたが、いつも温かい眼差しで見守ってくれる先生でした。

11月には、所属していた実験班のメンバーが久しぶりに佐賀市内に集まり、先生の奥様を交え食事が行われましたが残念ながら私は参加できませんでした。この時の写真をメールで送っていただきましたが、先生の遺影と奥様、集まった先生方の顔を拝見しつつ長い年月があったという間に過ぎてしまったということ、そして師匠はやはり亡くなったのだということを考えると急に目頭が熱くなってしまったことを覚えています。新しい年を迎えるにあたり先生の教えをこれからも大切にしていきたいと思いました。

「あんだ何歳や？」

宮崎市 むろい皮膚科・アレルギー科 むろ い えい じ 室 井 栄 治

私は今年の8月に48歳になります。ここ数年は年齢を重ねるたびに、指導を受けた教授のことを思い出すようになりました。あのころの教授と同じ年齢だと思い至り、我が身を振り返り、恥ずかしく思います。一方、小さな文字を読もうと眼鏡をはずした折に、同じ動作をして

いた教授の姿が思い浮かび、なつかしさを感じることもあります。私が入局したときの教授の年齢が現在の私と同じ47歳でしたので、その先生についての思い出を綴ってみようと思います。

初めて会話らしい会話をしたのは6年生の夏休みで、海辺で行われた医局のバーベキューに参加したときでした。教授の最初の言葉は明瞭に覚えています。「あんだ何歳や？」でした。その後どのような会話をしたのかは思い出せませんが、教授が幼児を抱え上げ、その190cmを超える長身から「たかいたかい」を繰り返していたことを覚えています。「すげー、高い！すごいぞ！」と興奮した幼児たちが何度も抱え上げてもらおうと教授の前に列を作っていた光景は、今思えば教授の後ろではなく前に行列ができる珍しいものでした。

入局後に尋ねられたのは血液型でした。医局員すべての血液型を把握しておられるという噂でしたが、間違っていて覚えていることもあるようでした。当時、入局2年目は関連病院に赴任することになっていました。同期4人で居酒屋で飲んでいるときに、人事は任地の上司との血液型の組み合わせで決めるのではないかと、話題になっていました。実際は各人の希望をきかれ、重複がなかったためそのまま決まりました。また、妻とともに結婚の報告に行ったときには妻も血液型を聞かれ。「その組み合わせはええで。私の両親と同じや」。とのコメントをいただきました。血液型占いとはいかないまでも何らかのお考えはあったようです。

今でも年賀状やSNSでのやり取りはありますが、「あんだ何歳になった？」といった他愛もない会話は直接会うことでしか生まれなようです。

受験協奏曲

宮崎市 増田病院 ^{ます}増 ^だ田 ^{よし}好 ^{なり}成

数年前から、親戚間の連絡で、「〇〇ちゃんが〇〇大学に受かったんだよ」。などと聞くことがあり、我が家で、「すごいね！将来が楽しみだね」。「じゃあ、お祝い包まないかね」。などの会話が合った。久しぶりに学生時代の友人に会った際に、子どもの話に及ぶと、「娘が〇〇中に合格したよ」。「息子が〇〇中に入学したから、会いに来たよ」。ということがあった。

正直、驚いた。子どものときに、一緒に虫捕りに夢中で、全く勉強している様子なかった、あのいとこのお子さんが医学部なんて。学生時代、一緒に年中ラグビーしかしていなかった、あの友人のお子さんが有名中学校に合格なんて。皆、懸命に子育てをし、子どもの将来を考えていたのだ。そして、共通して聞いたのは、「小学3年の2月になったら、入塾して受験スタートでしょ」。であった。

かくして我が家の長男も、受験のために塾に通うようになった。最初の模擬試験に迎えに行くと、誰よりも先に教室から飛び出して来た。試験時間を座って過ごすこと自体が苦痛で、帰りたくて仕方がなかったらしい。そんな彼も塾に友達ができ、徐々に成績が上がると、塾通いを楽しみにするようになった。そして、弟もくっつくように通うようになった。

学年が上がると、帰宅時間が遅くなり、遅い夕食を摂り、午後11時ごろまで勉強するようになった。学校から帰り、山登り用のリュックで5キロほどの荷物を担ぎ、3時間ほどの講義を受け、さぞ辛かろうと思ったが、涙目の彼に

付き合い、ともに難問に頭をひねった。終わって、一緒に風呂に入り、布団にボタンキューの毎日だ。

受験勉強は、やらされてる感もあったかもしれない。ただ、辛いことばかりでないよ。君は大きく成長した。自分が選ぶ環境で素晴らしい友人たちに出会い、更なる夢を叶えて欲しいと思っている。

さあ受験まで、もうちょっとだ。この号が出るころには結果が出ているだろう。一緒に、今クール最高の答え合わせをしようじゃないか。

兎にも角にも、すこやかに

宮崎市 くるみ皮膚科 ^か加 ^{しま}嶋 ^あ垂 ^き紀

「ピラティス」。それは北イタリアのお菓子でも珍しい魚でもなく、ヨガと柔軟体操と筋トレを組み合わせたような運動。私は忘れっぽくて飽きやすいので、淀みなく「ピラティス」と言えるころにはもう飽きているかも。そこで、ピラティス体験記を残し「運動」することを、ここに宣誓します。お読みくださった先生は温かいエールをお送りください。

さて、宮崎ではピラティス教室は少ない。有名教室は平日しか開いていない。11月某日、庶民的な教室へ友人とセミプライベートレッスン体験へ行ってみた。まず計測から。指示に従いその場で3歩歩いて、自然な姿勢で立つ。インストラクターが膝下、肩幅、腰の高さなどを測る。「足は組む？」「鞆はどちらに掛ける？」

などの問診。「レッスン後には体が楽になります」とのことで期待に胸が膨らむ。続いてマットに横になる。言われるとおり体を動かす。首から上はリラックス、骨盤を立て、腰骨が浮かないように、恥骨を内側に、肋骨を開いて呼吸…な、な難解すぎる。突如、10年前のピラティス体験を思い出した。「息を吸ってー、吐いて」のタイミングがわからず、叱られないように運動中はずっと呼吸を止めていた。ゆえに効果は実感できず記憶にも残らなかった。しかも今回は感染対策でマスク着用。呼吸のタイミングを間違えていても先生にばれない、効果が出

るのかは更に分からないのだ。最後に膝に「ピラティスボール」を10%の力で挟みつつ、体幹の力で右を向き、腕を天井に垂直に伸ばし、気持ちのよい範囲で床にできるだけ近づける。頭は「？」いっぱいレッスン終了。楽になったか？と言われれば今回もよく分からなかった。

年が明け、継続しているか？あるいは「ピラティス？ そんなお菓子があったかな」と忘却の彼方か？ 後者の予感ばかりですが年女の宣誓として、いかがなものでしょうか。

どうぞ先生方もピョンピョンと、おすこやかなよい一年となりますように。

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では、妊娠中の医師に
マタニティ白衣・スクラブ・パンツを貸し出しています～



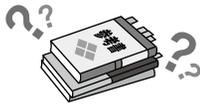
妊娠されている医師の方が、心地よく快適に過ごせますよう、マタニティ白衣、スクラブ、パンツをご用意いたしました。妊娠後期の短い間の着用ですが、どうぞご利用ください。

医師会員でなくてもお申込みできますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、宮崎県医師会ホームページ (<http://www.miyazaki.med.or.jp/>) をご覧ください。



お問い合わせ先
宮崎県医師会 担当 平川
TEL 0985-22-5118
FAX 0985-27-6550



あなたできますか？

—令和3年度 医師国家試験問題より—

(解答は30ページ)

- 中心性漿液性脈絡網膜症について誤っているのはどれか。
 - 夜盲を自覚する。
 - 変視症を自覚する。
 - 自然治癒することが多い。
 - 蛍光眼底造影が有用である。
 - 光干渉断層計〈OCT〉が有用である。
- 骨壊死のリスクファクターでないのはどれか。
 - 飲 酒
 - 減圧症
 - 放射線照射
 - 有機リン剤
 - 副腎皮質ステロイド
- 19歳の男性。実験中に水酸化ナトリウム液を右眼に浴び、救急受診した。意識は清明。右眼の結膜浮腫が著明であり、角膜が白濁している。まず行うべきなのはどれか。
 - 鎮痛薬の内服
 - 希塩酸液の点眼
 - 抗菌薬の点滴静注
 - 生理食塩液での洗眼
 - 高浸透圧利尿薬の点滴静注
- 足関節背屈の徒手筋力テストにおいて、足関節の動きを認めず前脛骨筋の収縮のみを認めた。評価はどれか。
 - 0
 - 1
 - 2
 - 3
 - 4
- 息切れと下肢の浮腫を呈し、心不全が疑われる患者に医療面接を行っている。開放型質問はどれか。
 - 「ご年齢を教えてください」
 - 「足のむくみに左右差はありますか」
 - 「いつ頃、足のむくみに気がつきましたか」
 - 「就寝後、息苦しくなって目覚めることはありますか」
 - 「今困っていることについてもっと詳しく教えていただけますか」
- パンデミックについて適切なのはどれか。
 - 人への新しい種類の感染が確認された状態
 - 通常の予測以上に感染が拡大している状態
 - 特定の区域や集団内で予測以上に感染が拡大している状態
 - 特定の区域などで普段から継続的に感染が発生している状態
 - 特定の区域を超えて世界中で感染が拡大して持続している状態
- 生理食塩液輸液下で2日間の絶食により上昇するのはどれか。
 - HbA1c
 - ケトン体
 - アルブミン
 - トリグリセリド
 - 総コレステロール
- 生活保護法について正しいのはどれか。2つ選べ。
 - 給付の申請は保健所で行う。
 - 分娩は扶助の対象外である。
 - 生存権の理念に基づき制定されている。
 - 介護扶助は原則として金銭給付によって行う。
 - 医療扶助では原則として後発医薬品を使用する。
- 日齢3の男児。軽度の腹部膨満を認めると看護師から指摘があった。在胎40週、3,100gで出生。①胎便排泄は生後48時間に認められた。②体重2,950g。体温37.0℃。心拍数136/分。整。血圧74/46mmHg。呼吸数40/分。③大泉門は2×2cmであった。④皮膚は黄疸を認める。腹部は⑤肝臓を右季肋下に1cm触知した。下線部のうち異常所見はどれか。
 - ①
 - ②
 - ③
 - ④
 - ⑤
- 大動脈瘤の原因にならないのはどれか。
 - 梅 毒
 - 動脈硬化
 - Buerger病
 - 高安動脈炎
 - Marfan症候群

エコー・リレー

(570回)

(南から北へ北から南へ)

金はあるうちに

宮崎市 神宮医院 田中宏幸



私の長年の“座右の銘、
である。

『なくなれば使えないでは
ないか?』言うまでもない。
普段から些細なモノに散財
するなと言う戒めである。

売りに出されたら買うぞと決めていても、いざ当座の貯金がないのは普段買わずに済むモノに出費するからで、しかもいちいち納得づくの行為だ。“将来何かの役に立つであろう”と思って買っても、使い道がなければ捨てるしかない。『まさかの出費のために貯金せよ』と他人はたしなめるが、金庫だけが鉄砲水に当たって流されるかも知れない。“金は天下の回りもの”とは、金に困っていない人が発する余裕の戯言で、欲しいときになければ意味がない。

ものごとは世間に都合よく、そういう自分に不都合に働く。笑顔を見たいばかりに土産をトランクいっぱい積み、飲めぬくせに限定焼酎が部屋を埋め、予防接種の前に幼稚なシールを用意する。少しでも欲しいものを見たたん、だらしな財布が大口を開ける。隅まで探した拳句喉から手が出そうな品が現れたら、今度は財布が知らんふりをする。

この“座右の銘、は自分には一生役に立たぬことを知っている。しかしいつか若輩に言い聞かせるとき、堂々と使うために出馬の機会を狙っている。同時に『くよくよするな、金は使ってこそ意味がある』も準備してある。

[次回は、宮崎市の河野 敦子先生をお願いします]

レスキューダイバー

宮崎市 宮崎鶴田記念クリニック PET画像診断センター 藤田晴吾



趣味は?と聞かれたら、
今はダイビングにはまっています。家族で訪れた石垣島での体験ダイビング、初めての海の世界で目の前を通り過ぎるマンタの群れに一気に心を奪われました。

体験だけでは物足りなくなりPADIのCカード取得、もっと深くまで潜りたいとアドヴァンスドオープンウォーターまで取得するのはあつという間でした。宮崎の海は綺麗なのですが、ちょっとコンディションが悪い時期に、なんと海の底でバディとはぐれ独りぼっちに。視界1mという何にも見えない海の底、まずは1分間動かずに助けを待って、それから独りで海面に浮上し何とかボートにたどり着きました。これをきっかけに更なる知識を得たいと思いレスキューダイバーを取得しました。レスキューダイバーとは、トラブル発生に対処できる知識やトラブルを未然に防ぐ能力を身につけ万が一の事故の際の救命方法を学ぶというものです。実際の講習では、負傷したダイバーの救助方法、水面アシストの方法、陸上での搬送、応急処置、水中捜索方法など、医療の現場でも役立つ知識を学びます。講習の際に溺れたダイバー役として海の底に沈んで助けが来るまで独り待っているのはちょっとトラウマでした。こうしてレスキューダイバーになったのですからダイビングの経験を疎かにしてはならぬと暇を見つけては沖繩に潜りに行っていたのですが、コロナの影響で3年ものブランクができてしまいました。先日ダイビングログを眺めていたら、最後は3年前の与那国島。映画Dr.コトー診療所(ロケ地:与那国島)の16年ぶりには及びませんが、新型コロナが収束したら、またダイビングを楽しみたいものです。

[次回は、都城市の森園 健介先生をお願いします]

メディアの目



過去のニュース原稿から浮かぶ「3年前の宮崎」

テレビ宮崎 報道部 部長

いの うえ ゆたか
井 上 豊

新型コロナ禍に入ってから間もなく3年。たった3年前のことが、ずいぶん昔の話のように思える。当時の宮崎は、どんな世の中だったのか。UMKのライブラリで、過去のニュース原稿を読み返してみた。県内初のコロナ感染者が確認された2020年3月。この月に放送したすべてのニュース原稿は約420本で、うち「コロナ」というワードが入っていたのは、半数近い約200本にのぼっていた。1日に6本以上。ニュースのかなりの部分がコロナ関連で占められていたことがよくわかる。内容はどうだったか。「小中学校が全国一斉臨時休校」「公共施設の利用中止」「航空会社が期間限定で減便」「県議会が日程短縮」「県内各地で買い占めの動き」「県立高校合格発表で掲示取りやめ」…項目名を見るだけで、感染症という見えない恐怖にさらされたころのことを思い出す。

翌4月、関連原稿は更に増える。「安倍総理（当時）が緊急事態宣言」「繁華街への外出自粛要請」と、より一層の緊張が伝わってくる。「コロナ」というワードが入った原稿は約370本中約220本。ニュース全体の実に6割。1日7本以上だ。当時叫ばれていたのが「ステイホーム」だった。子どもが学校に行けない。大人も飲みにも行けない。旅行なんてもつてのほか。苦しい記憶がよみがえる。

このままコロナ関連原稿は増え続けたかと思いきや、翌5月は微減の約200本。内容も少し

トーンが変わって、コロナに立ち向かう人たちの姿が見えてくる。「居酒屋がテイクアウト商品を開発」「宮崎市にマスク2万枚を贈呈」「ドライブスルーで野菜セットを販売」「延岡市でドライブインシアター」「プレミアム飲食券発売」など…

6月以降も社会経済への影響は続くが、「ウィズコロナ」で他の活動も増えていったためか、原稿の本数は150本～100本程度まで次第に減ってきた。そして大きく減ったのは、2022年4月。年度替わりで人々の気持ちも変わったのか？ コロナ以外の話題が増えてきた。宮崎カーフェリーの新船「たかちほ」就航という明るいニュースや、「3年ぶりに」イベントや大会が行われた、という話題も。この結果、4月以降、原稿の数は50本前後まで減っている。人々が、コロナ前の日常を少しずつ取り戻していることがわかる。

しかし第8波では、高齢者が次々に亡くなっている。高齢者施設のクラスターも多く、介護施設の方々は日々、大変な業務にあたられている。医療従事者の皆様への負担も、以前よりも大きくなっているであろう。ニュース原稿に「コロナ」のワードが全く出てこない日は、まだない。1日のニュースから「コロナ」というワードが出てこなくなる…早く、そんな日が来て欲しい。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第17回 防犯カメラの設置・運用について



Q.

当院に来られる患者さんの中で、検査費用などの治療費が思った金額より高かったためか、受付の事務が悪態をついたり大きな声を出されたりする人がいます。そのため、クリニックの受付に防犯カメラを設置しようと考えているのですが、何か注意すべきことはありますか？

患者の中には、クリニックのスタッフに対して大声を出す、または威圧的な態度でクレームを言ってくる方が一定数存在します。特に、悪質なクレームの場合、スタッフも恐怖心を感じてしまい、診療業務の妨害にもなります。この点、防犯カメラが設置されていれば、そのような悪質なクレームが映像として記録されるため、有効なクレーム対策となります。また、防犯カメラは、院内のセキュリティを確保するためにも有益です。

その一方、防犯カメラの映像は、来院される患者に関する情報であることから、個人情報保護法で定める「個人情報」に該当します。そのため、防犯カメラの映像は、医療機関における個人情報として厳格に管理を行う必要があります。また、防犯カメラにより映像として撮影される以上、患者のプライバシー権にも配慮する必要があります。

したがって、防犯カメラを設置する場合には、具体的に以下の点に注意して運用をされるとよいでしょう。

- ① 防犯カメラの設置および運用に関する管理責任者を選任すること。
当該責任者には秘密保持の誓約書を提出させるなど、秘密保持義務を徹底させることが大事です。
- ② 防犯カメラの設置および運用にあたり、合理的に許容される撮影区域を設定すること。
特に、過剰な防犯カメラの設置は避けるとともに、病室などの患者の私的な空間の防犯カメラの設置は行ってはいけません。
- ③ 防犯カメラの設置区域に、防犯カメラが設置されていることを周知すること。
受付や患者の見える位置に防犯カメラを設置している旨を示す案内を出すとい良いでしょう。
- ④ 防犯カメラの映像が、外部に流出することのないようデータサーバーの適切な管理を行うこと。
個人情報として流出がされないよう厳格に管理していくことが必要です。一定期間が経過すれば、データを削除していくのもよいでしょう。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

宮崎県感染症発生動向 ～12月～

令和4年11月28日～令和5年1月1日（第48週～第52週）

■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：日南保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として水様性下痢，血便がみられた。原因菌はO157（VT2）であった。
- 4類：○つつが虫病20例：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりであった。主な症状として頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発疹等がみられた。
 - 日本紅斑熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は40歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，頭痛，発疹，肝機能異常，手足の浮腫，倦怠感がみられた。
 - レジオネラ症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，肺炎がみられた。
- 5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として胆管炎がみられた。
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状としてショック，肝不全，腎不全，中枢神経症状がみられた。
 - 侵襲性インフルエンザ菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発熱がみられた。
 - 侵襲性肺炎球菌感染症2例：宮崎市，延岡保健所管内から報告があった。年齢はいずれも80歳代で，主な症状として発熱，肺炎，意識障害がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。
 - 水痘（入院例）1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として発疹がみられ他疾患入院中の発症であった。ワクチン接種歴は不明であった。
 - 梅毒21例（男性14例・女性7例）：保健所別報告数は【図3】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性

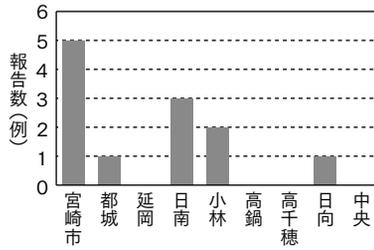


図1 結核 保健所別報告数(例)

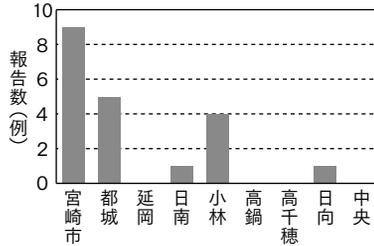


図2 つつが虫病 保健所別報告数(例)

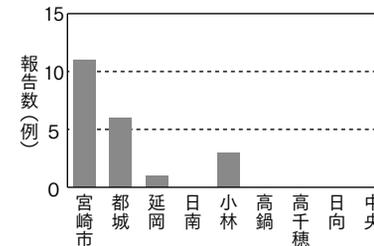


図3 梅毒 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	4
肺結核及びその他の結核 (粟粒結核，結核性脊椎炎)	1
その他の結核(結核性胸膜炎， 結核性腹膜炎疑い)	3
無症状病原体保有者	3
類似症患者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
30歳代	1
50歳代	1
60歳代	1
80歳代	5
90歳代	3

表3 つつが虫 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	3
70歳代	12
80歳代	3

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ例	14
早期顕症梅毒Ⅱ例	3
無症状病原体保有者	4

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	2
20歳代	4
30歳代	4
40歳代	5
50歳代	3
60歳代	3

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
細菌	<i>Escherichia albertii</i>	1
	EPEC (OUT:HNM)	1
	EPEC (OUT:H34)	1
	EPEC (OUT:H21)	1
	EPEC (OUT:HUT)	1
	EHEC (O15:HUT VT1)	1
	EHEC (O157:H7 VT2)	1
	EHEC (O18:HUT VT2)	1
	<i>Salmonella Infantis</i> (O7: r :1,5)	1
	ウイルス	Coxsackievirus A6

梅毒疹がみられた。

○百日咳1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は10歳代の女性で、主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦がみられた。ワクチン接種歴は有りであった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,669人（定点あたり47.0）で、前月の149%、例年の46%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は特になかった。

インフルエンザの報告数は266人（4.6）で前月の約53.2倍、例年の約0.2倍であった。日南（13.4）、延岡（10.9）、宮崎市（4.6）保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は882人（24.5）で前月の約1.3倍、例年の約0.8倍であった。日南（34.3）、小林（26.7）、宮崎市（26.4）保健所からの報告が多く、1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2022年12月〉

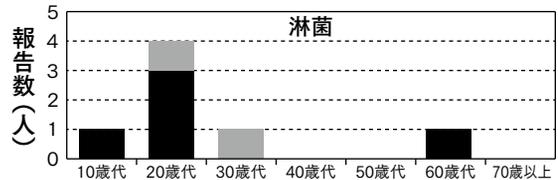
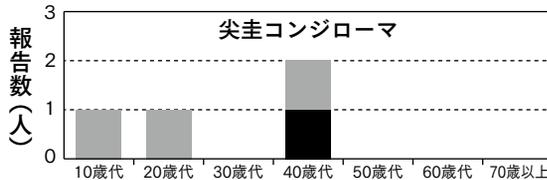
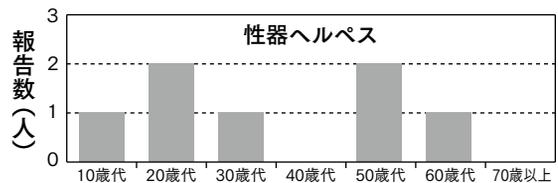
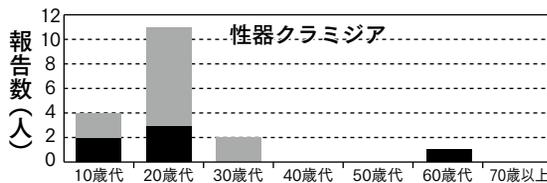
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は36人（2.8）で、前月比82%と減少した。また、昨年12月（3.8）の約0.7倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数18人（1.4）で、前月及び昨年12月の約0.7倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。（男性6人・女性12人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の1.8倍、昨年12月の約0.9倍であった。（女性7人）
- 尖圭コンジローマ：報告数4人（0.31）で、前月の4.0倍、昨年12月の2.0倍であった。（男性1人・女性3人）
- 淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約0.6倍、昨年12月の0.5倍であった。（男性5人・女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人（3.3）で、前月比128%と増加した。また、昨年12月（2.3）の約1.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数23人（3.3）で、前月の約1.3倍、昨年12月の約1.4倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2022年12月		2022年11月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	266	4.6	5	0.1	
RSウイルス感染症	97	2.7	73	2.0	
咽頭結膜熱	57	1.6	38	1.1	
※溶レン菌咽頭炎	48	1.3	43	1.2	
感染性胃腸炎	882	24.5	671	18.6	
水痘	22	0.6	24	0.7	
手足口病	141	3.9	137	3.8	
伝染性紅斑	2	0.1	3	0.1	
突発性発しん	78	2.2	63	1.8	
ヘルパンギーナ	45	1.3	32	0.9	
流行性耳下腺炎	6	0.2	6	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	25	4.2	7	1.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各郡市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

予想はしていましたが、年が明けてから新型コロナウイルス感染流行第8波の新規陽性者数は高止まり状態で、宮崎県での人口10万人あたりの陽性者数が全国1位を数日間記録していました。この間南那珂地域では受入れ可能病床がほぼ満床状態で、県立日南病院では医療スタッフのコロナ感染が重なったこともあって救急患者の受入れが困難となる事態が一時ありました。クラスターが発生した高齢者施設で重症化した患者さんの受入れを地域外に依頼せざるを得ない事案もあり、医療崩壊ともいえる状況でした。

そのような中、地域医療構想調整会議内に公立病院部会が設立されました。県立日南病院、日南市立中部病院、串間市民病院の3病院で組織され、当圏域ではコロナ患者入院可能な施設はこの3病院しかありません。民間医療機関では担えない分野へ重点化、注力するという「地域医療構想調整会議の進め方」に則り、県や日南、串間市は「公立病院経営強化プラン」を策定していただきたいと思います。そして平時の医療需要や病床稼働率だけを考慮するのではなく、新興感染症発生時に対応可能となるよう病床増設機能や余力のある人材確保等を盛り込んだ「病床改革プラン」の策定を公立病院にはお願いしたいと思います。3病院がそれぞれのプランを部会に持ち寄り、南那珂地域での医療提供体制が強化されるべく協議されることを期待しています。

(中村 彰伸)

宮 崎 市 郡 医 師 会

コロナ禍にあって医療分野のみならず、介護分野での人材不足の深刻さも実感することが多くなってきた。宮崎では在宅医学会や地域包括ケア推進センターを医師会内に設置し、管内病院の在院日数縮減や病医院からの退院調整支援等に寄与しているが、介護分野スタッフ不足は有料老人ホームや在宅療養を支える訪問介護事業などの運営を厳しくさせているという声をよく耳にするようになった。介護スタッフ不足は高齢者福祉施設や在宅療養の質を下げ、引いては病院からの円滑な退院支援につながりにくいという悪循環が起きている。コロナ禍が原因で介護分野の離職が増える一方で、介護人材を輩出する専門校の学生の定員割れも深刻となっている。これらは病院内で働く看護助手不足にも拍車がかかる原因であり、有料老人ホームや訪問介護事業所などの付帯業務を行っている医療機関では既に奨学金制度を活用して将来的な人材確保にも力を入れているところがあり、医師会としても取り組むべき課題であると考えます。

(牛谷 義秀)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

2022年の夏は、新型コロナウイルスの第7波で、これまでで最大の流行でした。オミクロン株では重症者は少ないものの、発熱患者の検査の為に、流行時には医療機関の重い負担となっていました。とりわけ休日当番医では、キャパシティをはるかに超えた患者数で、医院の前の道路にまで長い車列ができる状況でした。今冬はインフルエンザとの同時流行も想定され、更なる負担増が懸念されます。抗原検査は、早期は陽性にでない場合があることも踏まえ、軽症者の休日の受診抑制の方策を考える必要があると思います。

(丸山 浩一)

延 岡 市 医 師 会

学校における「新しい生活様式」や「GIGAスクール構想」により、電子メディアに接する時間が増加し、運動不足による子どもロコモ、肥満、睡眠不足、眼や脳への影響、学業成績の低下、暴力や攻撃性、性への影響などさまざまな問題が出ています。そういう中、延岡市学校

保健研究大会が開催できました。スマホ・ゲームの有害性に関する講演で、スマホは脳の働きを阻害し、繰り返されると不可逆的に依存性が増すとのことでした。やはり、対面でのコミュニケーションが重要で、それができる中学生ぐらいまではスマホは持たせない方がよいとのことでした。

(大重 明広)

日向市東臼杵郡医師会

令和4年6月より2回目の理事に就任いたしました協和病院理事長の堀 徹也と申します。昨年のお世相を表す漢字は「戦」でした。小生は「打」になります。なぜなら医療業界はコロナ感染症に打ちのめされました。しかし、個人的にはゴルフのスコアが140台から1回のみですが126と飛躍的に打数が減りました。世界的に目を向けると大谷翔平選手がベーブ・ルース以来104年ぶりの、二桁勝利・二桁本塁打と打者をうちのめし且つホームランを打ちまくりました。さて今年は何んな漢字になるのか楽しみです。

(堀 徹也)

児 湯 医 師 会

“目から鱗”だったのは、恥ずかしながら私だけだったかもしれません。5歳の女の子が主役のTV番組でした。触覚は痛覚に勝る（優先する）、触れることにより痛みが和らぐ、というタネあかしだったと思います。人との距離を縮められない昨今において、心の触れ合いも疎遠となり、心の傷も癒えなければ、自殺率が上がるのも不思議ではありません。全国でも自殺率の高い本県です（令和3年は9位）。当医師会内で保健所主導のうつ病対策に関するアンケート調査がありました。罹患者の精神科受診のハードルを如何に下げたか、かかりつけ医と精神科医との連携の充実化が浮かび上がりました。

(永友 淳司)

西都市西児湯医師会

新型コロナウイルスとの闘いは3年に渡り、今冬はインフルエンザの同時流行も起きています。国民の行動制限は解除されても、医療提供体制は解除されないため、反比例するように医療従事者の負担は増大傾向にあります。少ない医療資源の中で踏ん張っている医療従事者の心が折れてしまわないように、医師会として少しでも有益な情報発信を行いたいと考えます。一般的な感染症により医師会と行政間のネットワークが構築されたので、引き続き今後の連携強化につなげたいと思います。

(大塚 康二郎)

西 諸 医 師 会

多くの人がPCR検査を受けることに抵抗がなく、完全に生活に溶け込んでいるという異常事態が普通になっています。5回目のワクチン接種が急がれる状況で、2025年に充足するとも言われていますが、AI時代にも生き残る職業として、今年には地域医療の一翼を担う存在になる最後の12名が小林准看護学校を巣立ちます。

(石澤 宗純)

宮崎大学医学部医師会

昨年もCOVID-19により生活様式、働き方に大きな影響を残した1年でした。ワクチン接種やさまざまな治療法に加え県民の意識の高さなどが功を奏し、COVID-19も落ち着いてきましたが、社会経済活動を活発化させた影響もあり第7波や年末には第8波が押し寄せました。その中、12月に「特定共同指導」や「病院機能評価」を担当者や担当部署を中心にスタッフ一丸となり「All Miyadaibyoin」体制で受審しました。今後も安全で良質な医療を提供し、地域の医療機関と協力しながら医療の「最後の砦」としての役割を担っていきます。

(帖佐 悦男)

宮崎大学医学部だより

感染症学講座 —免疫学分野—



さとう かつあき
佐藤 克明 教授

宮崎大学医学部医学科
感染症学講座免疫学分野
を担当しております。こ
の場をお借りして講座開
講10年を迎えるにあたり、
謹んでご挨拶申し上げます。

平成25年3月より教授
を拝命し、同分野を開講して10年目を迎えます。宮崎県医師会ならびに宮崎大学医学部の諸先生の多岐に渡るご支援を賜り、教育・学術活動に専念できましたことを大変嬉しく思い、心からお礼申し上げます。

現在、講座では准教授1名、学部准教授1名、助教1名、事務補佐員1名、技能補佐員1名の教室員が在籍しており、臨床系講座より医学獣医学総合研究科博士課程大学院生1名を受け入れております。

当講座は、免疫系の司令塔として作用する白血球である“樹状細胞”を研究対象として、微生物感染やがんに対する生体防御機構とともに自己免疫疾患やアレルギー、移植片拒絶反応などの免疫疾患の発症・増悪機構の解明について研究をおこなっております。更に、これらの成果に基づいて、微生物感染、がん、免疫疾患に対する治療法の開発へ繋がる応用研究を推進しております。近年、特に推進しております研究テーマの一つは「がん免疫応答制御における樹状細胞に発現する機能制御分子の役割の解明」であり、国立研究開発法人日本医療研究開発機

構の「次世代がん医療創生研究事業」とその後継の「次世代がん医療加速化研究事業」の支援を受けております。最近の主な研究成果として、「尋常性乾癬における樹状細胞のCD103を介する機能制御機構の役割の解明」(Scientific Reports誌)、「樹状細胞における糖鎖認識ドメインにより自己分子結合を示すCLEC4A分子のITIM様配列を介した機能制御機構の解明」(International Immunology誌)、「アレルギー疾患に対する舌下免疫療法の防御効果における樹状細胞の役割の解明」(Communications Biology誌)、「通常型樹状細胞によるアトピー性皮膚炎の病態制御機構の解明」(Frontiers in Immunology誌)の論文が掲載されました。これら論文の筆頭著者は臨床系講座から受け入れておりました博士大学院生4名であり、各位博士学位(医学)が授与されました。引き続き、博士学位取得希望者の研究指導を行い、リサーチマインドを有する医師・歯科医師の育成に取り組みたいと考えております。

教育活動については医学科2年生の「免疫学・生体防御学」、看護学科1年生の「臨床病態学(免疫学分野)」の授業を担当しております。講義では学生にとって免疫学基礎知識の十分な習得を目指し、将来的に医療の現場で役立つように創意工夫を常に心掛け、教育内容の充実に取り組んでおります。更に、医学教育の重要性を顧み、本医学部からの優秀な医療人の輩出に寄与できればと思っております。

最後になりましたが、宮崎県医師会ならびに宮崎大学医学部の諸先生には当講座が宮崎大学医学部での教育・学術活動に引き続き貢献できますようご指導とご鞭撻を賜りましたら幸甚でございます。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

－ 各種委員会 －

医学賞選考委員会

と き 令和4年11月14日(月)

と ころ 県 医 師 会 館

市来常任理事の開会，小牧副会長の挨拶の後，比嘉委員長の進行により本年度の医学賞について協議した。

昨年発行された宮崎県医師会医学会誌第45巻第1号および第2号を対象とし，各専門分科医会からの推薦等を参考に討議した結果，「宮崎大学医学部附属病院におけるがんゲノム医療の現状と今後の課題」（西田卓弘先生 第45巻第2号）の1論文を選考し，医学賞受賞候補論文として河野県医師会長に推薦することとなった。



出席者－比嘉委員長，甲斐副委員長，
大西・小牧・市来・金丸・落合委員，
牧野課長，渡邊係長

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課
TEL 0985-22-5118

令和4年度医師会立看護学校担当理事連絡協議会

と き 令和4年12月22日(木)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

1 開 会

赤須常任理事の司会により開会し、河野会長の挨拶の後、報告・意見交換に入った。

2 報告および意見交換

- 1 令和5年度県に対する要望事項について
- 2 令和3年度看護学校卒業生および令和4年度入学生の状況について
- 3 医師会立看護学校卒業生就業状況について
- 4 医師会立看護学校運営状況について
- 5 令和4年度看護進路相談会について

3 意見交換

看護学校を取り巻く複合的な問題について、各学校より現状をご報告いただき、情報交換を行った。各校とも入学者の減少が問題となっており、宮崎市と延岡市は准看護師養成課程の閉校を決定し、全日制3年課程のレギュラーコースを開設する。また、医師会立看護学校の働きながら学べる特性を「学びやすい環境」と捉え、生徒募集の対象を新卒者から社会人経験者や既卒者に目を向けた取組みなどが報告された。

県からは、看護進路相談会やハローワーク、県政番組などで広報を行っていき、運営補助基準額の調整率アップも検討を続けていきたいと報告があった。



出席者

県医師会館

宮崎：白尾校長，玉置副校長，
井上事務長，滝川事務

都城：檜原校長

児湯：永友校長，鳥原学校主事，
鍋倉教務主任，富高事務長

県医療政策課：鶴主幹，木佐貫主査

Web (Zoom)

都城：新森・水津教務主任，
藤田事務課長，乾事務係長

延岡：野田校長，金井・門田副校長，
古川事務次長

日向：松岡校長，國延事務局長，
黒木教務主任

県医：山中・吉村理事

(県医) 河野会長，山村副会長，

赤須・吉見常任理事，

牧野課長，永田・渡邊係長

外来感染対策向上加算について

宮崎市郡医師会 理事 **ま しば こう いち**
真 柴 晃 一

2022年度の診療報酬改定で、新型コロナウイルス感染症の流行に対する医療体制強化を図るために「医療機関はもとより、地域単位での感染対策のさらなる充実が必要不可欠である」と認識され、感染対策向上加算が新設された。

【感染対策における診療報酬の変遷】

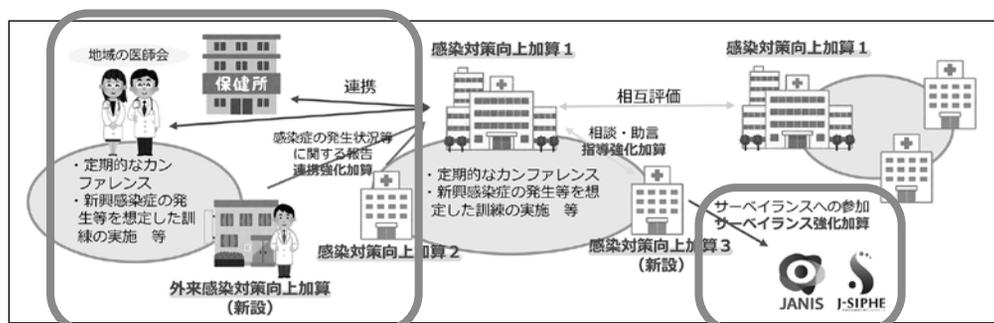
1996年、医療安全の一環として組織的に感染対策をとる医療機関に対し、院内感染防止対策が初めて診療報酬として入院患者に対する加算が認められた。2012年には新型インフルエンザなどの新興感染症や薬剤耐性菌の感染防止のために、医療安全とは別の対策として感染防止対策加算と病病連携を主とする地域連携感染対策加算が新設された。更に、AMR（薬剤耐性）対策が国際的な問題となり、2018年には抗菌薬適正使用支援加算が追加された。これまでの感染対策における診療報酬の対象は、主に病床を有する医療機関となっていた。

しかし、2020年から始まったコロナウイルス感染症のパンデミックは、従来の医療体制や感染対策では対応できず、医療崩壊の危機に陥

り、現場は混乱した。一部の医療機関だけではパンデミックに対応できず、広い地域で、診療所を含めた多くの医療機関が連携して面で感染対策を行い、医療提供をすることが喫緊の課題となった。この危機的事態を受け、2022年の診療報酬改定で、地域の基幹医療機関が牽引して中小規模の病院や診療所が連携した地域全体の感染症診療の向上を目指し、病院対象の感染対策向上加算と今回初めて診療所を対象とした外来感染対策向上加算が新設された。

【新設された感染対策向上加算】

外来感染対策加算の診療所と感染対策向上加算2・3病院は、「新興感染症の発生時や院内アウトブレイクなどを想定した地域連携体制について、基幹となる感染対策向上加算1病院とあらかじめ連携し協議しておく」ことが基本概念となっている。新興感染症が猛威を振るう前の平時から加算医療機関の対応を明確に定め、すべての外来加算診療所、加算1・2・3病院は、「1週間に1回程度、定期的に院内を巡回し、院内感染事例の把握をすること」が求められた。



出典：「令和4年度診療報酬改定の概要」厚生労働省保険局医療課

【感染対策向上加算】：病床を有する医療機関が対象（加算内容は省略）

（加算1病院）：「組織的な感染防止対策の基幹的な役割」を果たす地域の感染対策の基幹医療機関。

（加算2病院）：加算1病院と連携し、感染対策と感染管理に精通した医師・看護師などで構成される感染防止対策部門がある。

（加算3病院）：加算1病院と連携し、医師・看護師からなる感染防止対策部門を設置している。

【外来感染対策向上加算】：診療所が対象で、患者1人につき月1回6点加算。

《施設基準》

(1) 専任の院内感染管理者*を配置。

*医師，看護師，薬剤師，その他医療有資格者であれば良い。

(2) 加算1病院（または地域医師会）が定期的に主催する院内感染対策に関するカンファレンス**に年に2回程度参加。また、加算1病院または地域医師会が主催する新興感染症の発生を想定した訓練**に年1回以上参加。
**宮崎県，宮崎市・県央部，県央部各地区の取組みは後述。

(3) 新興感染症発生時に、県の要請を受けて発熱外来を実施する体制があり、自治体ホームページなどで公開***している。

***「みやざき医療ナビ（宮崎県総合医療情報システム）」の医療機関情報「外来特記事項（自由記載欄）」に記載するなど。

【連携強化加算】：診療所が対象で、患者1人につき月1回3点加算。

連携している加算1病院に年4回以上、感染症発生状況，抗菌薬の使用状況を報告。

*加算1病院の業務軽減のため，市郡医師会で

診療所からの報告書を取り纏めて一括報告してよい（提出情報は要確認）。

*令和5年4月以降も算定する場合，3月31日までに年4回の報告が必要。

【サーベイランス強化加算】：診療所が対象で、患者1人につき月1回1点加算。

院内感染対策サーベイランス（JANIS），または，感染対策連携共通プラットフォーム（J-SIPHE）に参加（各HP参照）。

*参加申込書提出時点から要件は満たすが，参加申込書の写しが必要。

【宮崎における合同カンファレンスおよび合同訓練】

基幹となる加算1病院は，通常診療業務に加え，流行している感染症診療や院内感染対策を行いながら，加算2・3病院や地域診療所と連携をとり，合同カンファレンスや合同感染対策訓練を企画・開催することは難しく，保健行政や医師会組織の十分な支援や連携なしには，感染対策向上加算の要件は取得できない。このため，県医師会，県保健福祉部，各保健所に何度となく働きかけ，宮崎市郡医師会会長，理事会，事務局の同意と後押しをいただき下記の体制を構築し，宮崎大学病院，県立宮崎病院，古賀総合病院，宮崎市郡医師会病院が中心となり，Webや各郡市医師会などの施設を利用して企画，運用を開始した。

《3次医療圏：宮崎県域の取組み》

3次医療圏単位で年1回（令和5年1月23日開催済），県下加算1の全12施設，加算2の全15施設，加算3の全20施設，外来加算の全112診療所が，県医師会，県福祉保健部・保健所と連携し，全県下でWebを駆使し，感染対策に関連した研修（国立感染研砂川センター長の講演）と情報交換。Web，動画を用いた合同訓

練（PPE着脱訓練）。

《2次医療圏：宮崎県央部の取組み》

2次医療圏として年1回（令和5年2月13日(月)19時～予定）、県央部（宮崎市・綾・国富、西都児湯）の加算1病院7施設、加算2病院4施設、加算3病院12施設、外来加算診療所66施設が、宮崎市郡医師会、宮崎市・中央・高鍋保健所と連携してWebと市郡医師会で感染対策に関連した研修（宮崎大学内科宮崎教授の講演予定）と情報交換と合同訓練（PPE着脱訓練予定）を行う。

* 県央部加算1病院（7施設）

宮崎大学附属病院、県立宮崎病院、宮崎市郡医師会病院、古賀総合病院、宮崎東病院、宮崎江南病院、潤和会記念病院

《1次医療圏：宮崎市・県央部各地区の取組み》

1次医療圏で県央部の各加算1病院（7施設）がそれぞれ近隣の加算2病院（1-3施設）、加算3病院（1-4施設）、外来加算診療所（6-11施設）と連携し年2回の合同カンファレンスを行う。

【今後の展望】

宮崎県医師会、県央部・宮崎市郡医師会の支援と協力のもとに県・保健所とも強力に連携し、病院と診療所が一体となったこの診療体制は、全国でも類を見ない大規模な診療連携である。この連携が十分に機能すると医療資源の乏しい地域医療が補完され、Webなどの通信技術を利用し、双方向の顔が見える医療提供と国が目指す施策に合致する体制が構築できるものと思われる。この感染対策診療連携が基盤となりすそ野が広がると、宮崎県の感染症対策以外のさまざまな医療分野、福祉分野の活性化につながる可能性があり、今後の展開が期待される。

こちらの記事は宮崎市郡医師会会報（2月号）の「一言一話」に投稿したのですが、県全体に関係する事なので本誌にも掲載させていただきます。

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	d	d	b	e	e	b	c, e	a	c

宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員名簿（医科）

（任期 令和5年1月1日～令和6年12月31日）

（○印は新任）

科 名	氏 名	科 名	氏 名
内 科	遠 藤 豊	外 科	上 田 祐 滋
”	川 越 宏 文	”	甲 斐 眞 弘
”	菊 池 郁 夫	”	後 藤 又 朗
”	黒 木 和 男	”	田 畑 直 人
”	土 持 若 葉	”	永 友 淳 司
”	西 川 清	”	日 高 秀 樹
”	姫 路 大 輔	”	丸 田 眞 一
”	藤 元 昭 一	”	峯 一 彦
”	眞 柴 晃 一	脳神経外科	上 原 久 生
”	松 尾 剛 志	”	大 田 元
”	○ 松 岡 均	心臓外科	金 城 玉 洋
”	○ 三 嶋 和 也	”	○ 早 瀬 崇 洋
”	光 川 知 宏	皮 膚 科	菊 池 英 維
”	○ 山 中 聡	”	津 守 伸 一 郎
神 経 内 科	湊 誠 一 郎	泌 尿 器 科	向 井 尚 一 郎
精 神 科	谷 口 浩	”	○ 山 下 康 洋
”	堀 徹 也	産 婦 人 科	○ 卜 部 浩 俊
小 児 科	○ 中 谷 圭 吾	”	土 井 宏 太 郎
”	四 元 茂	眼 科	中 崎 秀 二
整 形 外 科	阿 久 根 広 宣	”	中 村 彰 伸
”	佐 藤 信 博	耳 鼻 咽 喉 科	植 木 義 裕
”	○ 濱 田 浩 朗	”	○ 川 畑 隆 之
”	松 岡 知 己	”	春 田 厚

敬称略・五十音順

日医インターネットニュースから

■トリプル改定、「地域づくりの礎に」 — 松本会長 —

松本吉郎会長は1月11日の会見で、新年に当たっての抱負を述べた。今年の医療界の重要課題の一つとして、2024年度トリプル改定に向けた取り組みを挙げた。25年には団塊の世代全員が後期高齢者になることを見据え、トリプル改定は「医療と介護が連携して全ての世代が安心して暮らせる地域づくりの礎にすべきだ」と訴えた。

松本会長は、22年度診療報酬改定が医療現場に与えた影響を検証した上で、24年度改定を考えることが基本だと説明。国民の健康と命を守るためには国民皆保険の持続性が重要だとし、中医協、医療保険部会、医療部会などで日医の考えをしっかりと主張していく姿勢も強調した。

トリプル改定以外では、▽新型コロナウイルス感染症▽かかりつけ医機能▽医療DX▽医師の働き方改革—を重要課題として挙げた。

かかりつけ医は、あくまで患者自身が選ぶもので、フリーアクセスにおいて国民が制度を活用して適切な医療機関を選択できるよう、支援を行うべきだとした。

日本では、病院と診療所、診療科目によってさまざまな受診の仕方が可能で、かかりつけ医を複数持つこともあり得ると強調。昨年の議論を念頭に、「日本の医療の良さを残しつつ、かかりつけ医機能の在り方を検討する方向性が共有されたことは大変良かった」と述べた。

医師は日医かかりつけ医機能研修制度の受講などで自己研鑽に励み、地域医療を面として支えるために、役割分担しながら連携していくことが重要だとした。

●医療DX「拙速に進めるのは問題」

日医が考える医療DXについては、「デジタル化によって情報連携や医療の効率化を進め、よ

り安心安全に質の高い医療を提供する」「医療現場の負担軽減につながる」との方向性を説明した。

医療DXをなるべく早く推進する必要性に理解を示した一方、「課題も多くあり、拙速に進めるのは問題。医療現場に無理強いすることなく、しっかりとインセンティブを示しながら、問題が起こらないようしっかりと進めていきたい」と話した。

医師の働き方改革を巡っては、「医師の健康の確保と地域医療の両立」という基本理念の下、制度ありきにならないように現場の声を聞き、細心の注意を払いながら取り組む構えを見せた。

会内における最重要課題としては、組織強化を挙げた。地域医師会との連携をより緊密にして現場の声を踏まえた政策提言を行うことで、医師の期待に応えられる医師会、国民の信頼を得られる医師会につなげていく意向を示した。

会長就任時に、全国を訪問して各地域の医師会の意見に耳を傾ける目標を掲げたことにも言及。「半年間で30以上の都道府県を回っており、残りの地域も訪問を予定している。それが終われば、さらにもう1回、全国を訪問したい」と述べ、現場の声を踏まえた政策提言や医療提供体制の構築に取り組む姿勢を強調した。

(令和5年1月13日)

■46都道府県でインフル流行

— 23年第1週、前週の倍以上に —

厚生労働省は1月13日、2023年第1（1月2～8日）のインフルエンザ発生状況を公表した。全国の定点当たり報告数は4.73となり、前週（2.05）から大幅に増えた。患者報告の総数は2万3139人となり、前週（9768人）から、倍以上に増加した。都道府県別に定点当たり報

告数を見ると、山形を除く46都道府県が流行開始の目安である1.00を上回っている状況だ。

定点当たり報告数が最も多いのは沖縄で17.77。次いで宮崎が12.37、佐賀が10.08、福岡が9.62となった。

患者報告数が最も多いのは大阪で2462人。福岡1895人、東京1460人、神奈川1379人と大都市部で多くの患者報告があった。

学校関連施設については、学級閉鎖が1施設となり、前週から横ばいだった。休校・学年閉鎖をした施設はなかった。(令和5年1月17日)

■ 「医療を受けられない状況は回避を」

— 保険証廃止に伴い、医療保険部会 —

厚生労働省は1月16日の社会保障審議会・医療保険部会（部会長＝田辺国昭・国立社会保障・人口問題研究所長）で、マイナンバーカードの健康保険証の一体化に向けた取り組みを説明した。委員からは、現行の健康保険証の廃止に伴い、必要な医療を受けられないケースが生じないように求める声などが上がった。

政府は、来年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナカードと一体化する方針を掲げる。これに向け、デジタル庁は昨年12月、関係大臣も参加する「マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する検討会」を設置した。

厚労省は部会で、検討会で一体化の課題について協議を始めたことを報告。紛失など例外的な事情でマイナカードを所持していない場合の対応や、子どもや要介護者らのマイナカードの取り扱いなどがテーマに挙がっているとした。

● 国民・医療機関に「負担かけないように」

猪口雄二委員（日医副会長）は保険証廃止に向け、「誰一人取り残さないのが基本姿勢であり、国民や医療機関に多大な負担をかけないことを大きな原則としてほしい」と主張した。一体化によって医療を受けられないケースが生じないように、新生児や高齢者、認知症患者らへの対応を協議する必要性を訴えた。一体化で必要となるサイバーセキュリティ対策については、医療機関への財政支援を国に要請した。

佐野雅宏委員（健保連副会長）は、医療DX推進などの観点から、一体化について「よりよい医療を受けられるようになるという点では賛成」とした。他方で「実務上の課題は山積みだ」と指摘。「国民・患者に対して医療の質が向上して今より良くなるというメリットの説明が重要だと考えている」と述べ、周知の徹底を求めた。

● オン資CR申し込み、義務化施設の97%超

厚労省は部会で、今春のオンライン資格確認の原則義務化に向けた導入状況も報告した。顔認証付きカードリーダー（CR）の申し込み数が、8日時点で義務化対象施設の97.7%に達し、43.7%が運用を開始した状況などを報告。併せて、昨年12月に中医協がまとめた原則義務化の経過措置や、診療報酬上の時限的措置に関する答申についても説明した。

佐野委員は「経過措置は最小限にとどめ、延長はあり得ないことを改めて強く指摘する。時限的評価についても、導入・普及を徹底するためのものであり、これも延長はあり得ない」と強調した。（令和5年1月20日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師国保組合だより

歩こう会の開催中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加される組合員並びにご家族の皆様方の安全を考慮し、今年度も開催を見送ることとしましたのでお知らせいたします。

保健事業のご案内

実施期間：令和5年3月末日まで 請求期限：令和5年5月19日まで（必着）

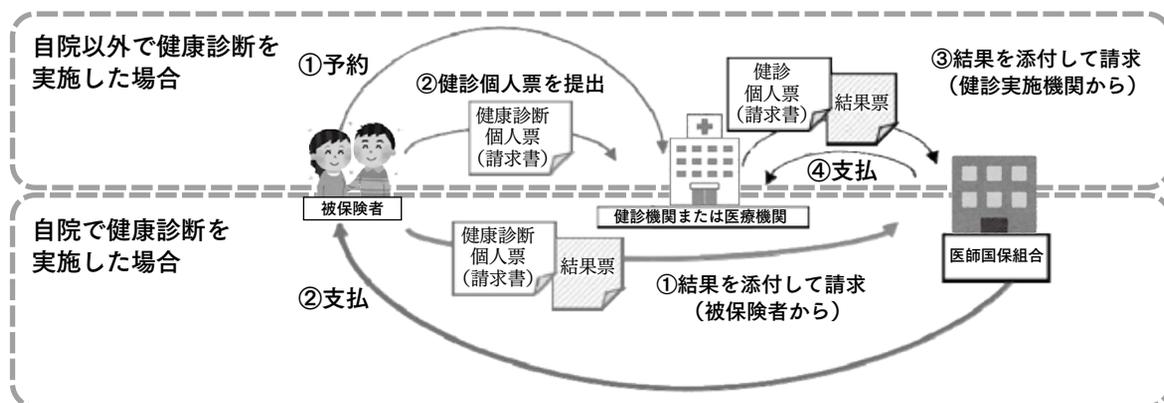
健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者（被保険者） ※配偶者は75歳の誕生日前日まで
上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方を含む）
※年度中に40歳になる方～74歳の方は、特定健診対象者です。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。
その際は、健康診断個人票（黄色）の必須検査項目（★印の項目）を必ず実施してください。



特定保健指導受診のお願い

対象者には、当組合より利用券を送付します。特定保健指導のご案内が届いた方は対象施設にご予約のうえ必ず受診ください。自己負担はありません。

<国民健康保険 保険料納付済証明書の送付について>

確定申告の際に必要となります令和4年分国民健康保険 保険料納付済証明書について、組合員の先生方へ1月中に送付いたしました。

証明書は、再発行いたしかねますので紛失しないようご注意ください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL : 0985-22-6588 FAX : 0985-27-6550

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

会員名簿の訂正

令和4年版宮崎県医師会会員名簿（令和4年12月）に誤りがございました。

関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。

63ページ

宮崎県医師会勤務医部会役員

(誤)	県医師会	岩村 威志	880-2112	宮崎市大字小松1119 潤和会記念病院	0985-47-5555 FAX 47-8558
(正)	県医師会	田畑 直人	880-0003	宮崎市高松町2-16 宮崎医療センター病院	0985-26-2800 FAX 27-6811



令和4年12月13日(火) 第13回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎大学医学部・旧宮崎医科大学開講50周年記念事業への寄付について

宮崎大学基金「医療人育成共創拠点形成事業」を活用した次世代を支援するための3か年の施設整備計画への寄付の依頼で、協力することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①R5.2/4(土)(延岡市)日本眼科医会90周年記念公開講座・目の健康講座 ご後援(名義使用)許可のお願いについて
→「目の愛護デー」事業の一環として開催される県民向けの健康講座で、名義後援を行うことが承認された。

3. R5.6/3(土)(大分)九州ブロック日医代議員連絡会議における日医各種委員会の報告希望委員会について

報告を聞きたい日医委員会があれば、事務局を通じて会長に申し出ることが承認された。

4. 宮崎大学白菊会運営支援のお願いについて

献体登録者の会である宮崎大学白菊会から運営資金に対する援助依頼があり、例年同様、県医師会会員への募集案内等に協力す

ることが承認された。

5. 業務委託について

①令和4年度新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保業務の委託について
→4月1日付で締結済みの契約について、健康観察対応者数が想定より多かったため委託料を増額するための変更契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 11月末日現在の会員数について

3. 11/30(水)(宮大)宮大経営協議会・学長選考・監察会議について

4. 12/6(火)(県防災庁舎)県健康長寿社会づくり推進会議について

5. 12/1(木)(県防災庁舎)県新型コロナウイルス感染症対策協議会について

6. 12/1(木)(県医)県医中間監事監査について

7. 12/8(木)・9(金)(宮崎市)社会保険医療担当者の特定共同指導について

8. 12/9(金)日医医師会共同利用施設検討委員会について

9. 12/7(水)(県医)外国人患者対応に関する研修会について

10. 12/8(木)(県医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について

11. 12/10(土)・11(日)(シーガイア)指導医のための教育ワークショップについて

12. 12/12(月)(県医)生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について

13. 12/7(水)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について

14. 11/30(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

15. 12/6(火)(県防災庁舎)県保険者協議会について

16. 12/3(土)(県医)産業医研修会について

17. 12/12(月) 日医公衆衛生委員会について
18. 12/8(木) (県庁) 性暴力被害者支援に係る意見交換会について
19. 12/10(土) (県医) ひむか性教育シンポジウムについて
20. 12/9(金) (県医) 労災部会自賠委員会について
21. 12/9(金) (県医) 損害保険医療協議会について

(議決事項)

1. 12/18(日) (JA-AZMホール) 拡大選対会議の開催について

会長が出席することが承認された。また、12月24日(土)に河野太郎デジタル大臣を弁士に迎えた街頭演説会が行われることが説明され、役員に対し、拡大選対会議と街頭演説会のどちらとも積極的に参加していただくことと、各郡市医師会へも参加を呼び掛けていただくことが依頼された。

2. 1/15(日) (宮観ホテル) 公明党令和5年賀詞交歓会のご案内について

出席を希望する場合は、事務局を通して河野委員長に申し出ることが承認された。

(報告事項)

1. 12/2(金) (JA-AZMホール) 経済危機突破総決起大会について
2. 12/8(木) (宮崎神宮) 河野しゅんじ候補必勝祈願祭・出陣式について
3. 12/10(土) (福岡) 自見はなこ社会保障政策懇話会について
4. 12/10(土) (福岡) 吉田学前厚生労働事務次官との意見交換会について

令和4年12月27日(火) 第14回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県感染症発生動向調査委員会委員の

就任について

→感染症対策の評価を行い、疾病予防及び感染症蔓延防止に資することを目的に本県に設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、現委員の再任について、県小児科医会、県産婦人科医会、県眼科医会に確認の上推薦することが承認された。

②宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議における委員の推薦について

→障がい者の虐待防止及び権利擁護を推進するために設置される連絡会議の任期満了による委員の推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①R5.3/4(土)「世界肥満デー関連市民公開講座」への名義後援について

→肥満、肥満症のリスク、対策等について、一般市民の方々を対象に開催される公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

②R5.9/1(金)「医学－獣医学 連携特別公開講座の開催へのご協力のお願い」について

→SFTSに関して医療従事者、獣医療従事者を対象に開催される公開講座で、本会と県獣医師会との「学術協力の推進に関する協定」の一環として、名義後援の承認と広報等に関し協力することが承認された。

3. 厚生功労に係る令和5年秋の叙勲及び褒章候補者の推薦について

1名を推薦することが承認された。

4. R5.1/19(木) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて

4 医療機関を対象に行われる新規個別指

導で、荒木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

5. R5.1/26(木) 九州厚生局及び宮崎県による
集团的個別指導の実施に係る立会いについて

3 医療機関を対象に行われる集团的個別指導で、市来常任理事を立会人として派遣することが承認された。

6. R5.2/12(日) (日医) 令和4年度母子保健講習会の開催について

地域医療における母子保健活動を円滑に実施するために必要な知識を修得するための研修会で、嶋本常任理事と上山理事の出席が承認された。

7. R5.1/21(土)・1/22(日) (大分) 九州医師会連
合会救急・災害医療担当理事連絡協議会並
びに第7回九州ブロック災害医療研修会の
開催について

救急災害医療担当理事5名と職員1名の出席が承認された。

8. 1・2月の行事予定について

(報告事項)

1. 12/14(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
2. 12/15(木) (県防災庁舎) 県医療審議会について
3. 12/20(火) (県医) 日医理事会等について
4. 12/15(木) (県防災庁舎) 県医療審議会医療法人等部会について
5. 12/21(水) (県防災庁舎) 県保健医療福祉調整本部関係者会議について
6. 12/23(金) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について
7. 12/14(水) 日医定款・諸規程検討委員会について
8. 12/19(月) (県医) 自殺対策うつ病研修会について
9. 12/22(木) (県庁) 県依存症対策推進協議会について

10. 12/16(金) (県防災庁舎) 県地域医療対策協議会について

11. 12/19(月) (小林市) 西諸地域医療構想調整会議について

12. 12/14(水) (県防災庁舎) 県特定行為に係る看護師の研修制度推進検討会について

13. 12/14(水) 日医地域包括ケア推進委員会について

14. 12/17(土) (県医) かかりつけ医認知症対応力向上研修会について

15. 12/22(木) (県歯科医師会館) 県歯科医師会医療と介護における連絡調整会議について

16. 12/21(水) (県庁) 全国学校保健・安全研究大会準備委員会について

17. 12/23(金) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

18. 12/16(金) 日医未来医師会ビジョン委員会について

19. 12/15(木) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

20. その他

①R5.1/1付職員人事異動について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 12/18(日) (JA-AZMホール) 河野しゅんじ候補拡大選対会議について
2. 12/24(土) (JA-AZMホール前広場) 河野しゅんじ候補帰陣式について
3. 12/25(日) (選挙事務所) 河野しゅんじ候補開票速報会について

国民年金基金 のご案内

日本医師・従業員支部

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部は、
「日本医師会」を設立母体とする
日本医師・従業員国民年金基金が、
全国基金への統合に伴い移行した
医師・医療従事者のための職能型支部です。

不確実な将来に、今、備える



国民年金基金は、
国民年金(老齢基礎年金)に上乗せする
「公的な年金制度」です。

国民年金基金のおすすめポイント ～税優遇を活かして老後に備える～

1 税制上の優遇措置

掛 金 掛金は全額社会保険料控除の対象となり所得税、住民税が軽減されます。
(掛金上限額(816,000円/年)まで控除の対象)

年 金 受け取る年金にも公的年金等控除が適用されます。

遺族一時金 遺族一時金は全額が非課税となります。

2 生涯にわたる給付

人生100年時代に向けた「終身年金」が基本です。

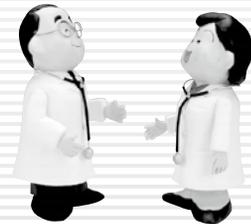
税理士のご紹介で
加入されている方が
増えております。

3 ご家族及び従業員の方も加入可能

同一生計のご家族の掛金も負担した方の社会保険料控除の対象となる税制面のメリットがあります。
従業員の雇用確保の観点でご活用されているケースもあります。

国民年金基金に加入できる方

- 20歳以上60歳未満の国民年金の第1号被保険者の方
- 60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方
- 「日本医師会年金」に加入されている方でも重複して加入できます。
- 厚生年金の被保険者は加入できません。



お問合せは下記の基金事務所へどうぞ

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部

☎ 0120-700650
FAX 03-5976-2210

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-6-12 マグノリアビル2階

ポイント

HP上でもシミュレーションや
加入申出のお手続きができます!

日本医師従業員

検索

0120-700650

検索

ホームページ

<https://www.jpmpnf.or.jp>



県 医 の 動 き

(1月)

6	九州各県アイバンク連絡協議会		
10	第14回常任理事協議会（会長他）		
11	支払基金審査運営協議会（会長）		
12	県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本常任理事他） 子ども救急医療電話相談に関する意見交換会 （Web会議）（高木常任理事）	22	（大分）九州ブロック災害医療研修会 （池井常任理事他） かかりつけ医等発達障害対応力向上研修会 （Web会議）（高木常任理事）
13	医療安全対策セミナー（Web会議） （荒木常任理事）	23	県高齢者虐待防止連絡会議（石川常任理事） 県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議 （石川常任理事） 広報委員会（荒木常任理事他） 県感染症危機管理研修会（Web会議） （吉田常任理事他）
14	保育支援事業全体顔合わせ会（荒木常任理事他）	24	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 医協理事会（河野理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第15回全理事協議会（会長他） 各都市医師会長協議会（会長他） 母体保護法指定医師審査委員会（小牧副会長他）
16	広報委員会（荒木常任理事他）	25	宮大経営協議会・学長選考・監察会議（会長） 労災診療指導委員会（赤須常任理事他） 県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 県歯科医師会地域医療支援病院等における医 科歯科連携推進事業「医療連携会議」 （金丸常任理事他）
17	（日医）日医監事会（会長） （日医）日医理事打合会（会長） （日医）日医理事会（会長） （日医）都道府県医師会長会議（会長） （日医）日医連執行委員会（河野委員長他） （日医）都道府県医師会長会議・日医連執行委 員会合同新年会（会長他）	26	九州各県学校保健会長及び学校保健担当者連 絡会（Web会議）（会長） 社会保険医療担当者の集团的個別指導 （市来常任理事）
18	日医地域医療対策委員会（Web会議） （山村副会長） 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 （石川常任理事） 臨床検査精度管理調査実行委員会（Web会議） 高次脳機能障がい講演会（Web会議） （吉田常任理事）	27	日医財務委員会（Web会議）（会長） 全国メディカルコントロール協議会連絡会（Web 会議）（落合理事） 県外科医会理事会（Web会議）（田畑理事） 県障害者自立支援協議会医療的ケア児等支援 部会（Web会議）（石川常任理事他）
19	社会保険医療担当者の新規個別指導 （荒木常任理事） 病院部会・医療法人部会合同理事会 （池井常任理事他） 医師国保組合定例事務監査（秦理事長他）	28	県産婦人科医会冬期総会・講演会（Web会議） （嶋本常任理事他） 九州各県内科医会会長会議（Web会議） （玉置理事）
20	日医勤務医委員会（Web会議）（金丸常任理事） 県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修 会（Web会議）（上山理事）	29	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 （石川常任理事）
21	県訪問看護ステーション連絡協議会管理者向 け研修会（Web会議） （大分）九州ブロック災害医療研修会 （池井常任理事他） 自賠責保険研修会（Web会議）（赤須常任理事他） （大分）九医連救急・災害医療担当理事連絡協 議会（山村副会長他）	30	日医認定産業医制度関係小委員会（Web会議） 医師国保組合理事会（秦理事長他）
		31	第16回全理事協議会（Web会議）（会長他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年1月4日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 8人

希望診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	5	2	3
脳 外	1	0	1
老 健	1	0	1
検 診	1	0	1

2. 斡旋成立件数 88人

	合 計
令 和 4 年 度	3
平成16年度から累計	88

3. 求人登録 90件 314人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	87	71	16	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	26	21	5	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	31	24	7	健 診	3	2	1
精 神 科	9	8	1	泌 尿 器 科	5	3	2
脳 神 経 外 科	10	6	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	16	14	2	皮 膚 科	4	2	2
麻 酔 科	12	9	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	9	7	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	9	8	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リウマチ科	0	0	0
呼 吸 器 科	2	2	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
脳 神 経 内 科	7	5	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	2	2	0
リハビリテーション科	5	5	0	そ の 他	5	5	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	314	252	62

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフロラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230199	医)社団アブラムクラブ ベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医)聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医)文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
230218	医)養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年1月4日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり(22台) 2階は事務所 3階は宿舎・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにくちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡
	③ 宮崎市柳丸町32 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階部分の約半分のスペース：213.68㎡ (64.75坪) (1階は老人ホームと併設，2・3階は老人ホーム) ※駐車場あり(14台)	所有者：宮崎市郡医師会員 野辺医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoubank@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和5年1月28日

2		月			
1	水	15:30 県メディカルコントロール協議会総会 18:45 スポーツドクター連盟総会 (Web会議) 19:00 健康スポーツ医学セミナー (Web会議)	17 金	18:30 介護保険に関する主治医研修会 (Web会議)	国 保 審 査
2	木	15:00 日医有床診療所委員会 (Web会議) 15:00 県看護協会新人看護職員研修推進協議会 18:30 勤務医部会理事会 (Web会議) 19:00 勤務医部会後期講演会 (Web会議)	18 土	13:00 レジナビFairオンライン宮崎県2023~臨床研修プログラム~ 14:30 産業医研修会 (TV会議) 15:30 (福岡)九州地区医師国保組合連合会理事会 16:00 病院部会・医療法人部会医療従事者研修会 16:00 (福岡)九州地区医師国保組合連合会全体協議会	
3	金	13:30 全国国保組合協会理事長・役員研修会 (Web会議)	19 日		
4	土	15:00 母体保護法指定医師研修会 (Web会議)	20 月	19:00 広報委員会 19:00 JMAT・JRAT合同研修会 (Web会議)	
5	日	13:00 日医医療秘書認定試験	21 火	10:00 (日医)日医監事会 11:00 (日医)日医役員勉強会 13:00 (日医)日医理事打合せ 13:00 国保組合推進連盟代議員会 (Web会議) 13:45 全国国保組合協会理事会 (Web会議) 14:00 (日医)日医理事会 19:00 医師協同組合プロジェクトチーム協議会	
6	月	13:30 県障害者施策推進協議会 18:00 県認知症患者医療センター合同会議 (Web会議) 19:00 県臨床研修・専門研修運営協議会ワーキンググループ (Web会議)	22 水	11:15 県国保連合会理事会 13:00 県国保連合会通常総会 15:00 労災診療指導委員会 15:00 産業保健総合支援センター運営協議会 19:00 医療機関税制Webセミナー (Web会議)	
7	火	16:00 県ロコモティブシンドローム対策協議会 19:00 第15回常任理事協議会	23 木	(天皇誕生日)	
8	水	13:00 日医年金委員会 (Web会議) 16:00 支払基金審査運営協議会	24 金	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
9	木	13:00 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会 (Web会議) 19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	25 土	12:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議) 14:45 医神祭 15:00 創立134周年記念医学会/県民健康セミナー (Web会議)	
10	金	14:00 県ナースセンター事業運営委員会 15:00 (日医)日医医師会共同利用施設検討委員会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会	26 日	10:00 日医医療情報システム協議会 (Web会議) 13:00 (東京)日本小児科医会社会保険全国委員会	
11	土	(建国記念の日) 12:30 (熊本)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会 16:00 (大分)九医連常任委員会 16:00 (大分)九医連各種協議会	27 月	18:15 県公害健康被害認定審査会 19:00 医師国保組合理事会	
12	日	8:30 (熊本)日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・学術大会 12:30 (日医)母子保健講習会 14:00 緩和ケアチーム研修会 (Web会議)	28 火	16:30 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (Web会議) 18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第18回全理事協議会	
13	月	13:30 県社会福祉審議会 14:00 県防災会議 18:30 県循環器病対策推進協議会 19:00 救急災害医療対策委員会 (Web会議)			
14	火	16:00 県地域医療対策協議会 19:00 第17回全理事協議会 (Web会議)			
15	水	19:00 広報委員会			
16	木	14:00 社会保険医療担当者の新規個別指導 15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会			
17	金	13:00 全国アイバンク連絡協議会 (Web会議) 14:00 (日医)都道府県医師会事務局長連絡会			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年1月28日

3		月			
1	水	16:00 日医地域医療対策委員会 (Web会議) 19:00 特定健康診査等従事者研修会 (Web会議)	18 土	13:00 日医医療事故調査制度に係る支援団体統括者セミナー (Web会議) 16:00 (福岡)九州医師協同組合連合会購買・保険部会, 職員研修会	↑
2	木				
3	金	16:00 (福岡)全国国保組合協会九州支部総会			
4	土	9:00 ICLS指導者養成ワークショップ	19 日		
5	日	8:30 ACLS研修会			
6	月	19:00 外国人患者対応に関する研修会 (Web会議)	20 月	(東京)全国国保組合協会通常総会 19:00 県医医学会役員会 (Web会議)	国保審査
7	火	19:00 第16回常任理事協議会		(建国記念の日)	
8	水	16:00 支払基金審査運営協議会 17:30 県アイバンク協会理事会	22 水	10:00 (日医)日医監事会 13:00 (日医)日医理事打合会 14:00 (日医)日医理事会 19:00 広報委員会	↑
9	木	19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)			
10	金	19:00 医師国保組合通常組合会	23 木	19:00 県臨床研修・専門研修運営協議会 (Web会議) 19:00 医療安全対策Webセミナー (Web会議)	↓
11	土	13:30 臨床検査精度管理調査報告会 (Web会議)			
12	日		24 金	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	社保審査
13	月	14:30 県がん診療連携協議会			
14	火	16:00 宮大医学部附属病院医師臨床研修管理委員会 19:00 第4回理事会 終了後 第19回全理事協議会	25 土		
		19:00 広報委員会			
15	水	19:00 広報委員会	26 日	(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医臨時代議員会	
16	木	13:30 県国民健康保険運営協議会 19:00 県産婦人科医会働き方改革委員会 (Web会議)	27 月		↓
17	金	県外科医会冬期講演会 13:30 宮大経営協議会 14:30 県地域医療オリエンテーション 15:00 日医医師会共同利用施設検討委員会 (Web会議) 16:00 (大分)九医連事務局長連絡協議会 (※事務局)	28 火	18:30 医協理事会 19:00 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第20回全理事協議会 (Web会議)	
			29 水	14:30 日医地域医療対策委員会 (Web会議) 15:00 労災診療指導委員会	
			30 木		
			31 金		

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 2月1日(水) 19:30~20:40 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	高齢者排尿のいろは 古賀総合病院 泌尿器科 部長 上別府豊治	65 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 キッセイ薬品工業(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会産業医研修会 2月2日(木) 19:00~21:00 県医師会館	この一年間(令和4年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修：2単位	3 (0.5) 6 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 2月3日(金) 19:00~21:00 県医師会館	精神科医から見たメンタルヘルス連携の在り方(Ⅱ) 産業保健相談員 西都病院 医師 植田 勇人 生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和4年度医師等 医療従事者結核研 修会 (Web講習会) 2月3日(金) 19:00～20:30 日南保健所 ※受講はWebのみ	結核の早期発見と早期治療・感染防止対策(COVID-19 との対比) 宮崎東病院 院長 伊井 敏彦	8 (1.0)	◇主催 ※日南保健所 ☎0987-23-3141
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 2月3日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキン グスペース ※受講は現地また はWeb	超高齢化社会における心不全診療 ～当院での心不全医療連携を含めて～ 久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門 主任教授 福本 義弘	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会母体 保護法指定医師研 修会 (Web講習会) 2月4日(土) 15:00～18:00 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	医療安全について 宮崎大学医学部医学科 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科分野 教授 桂木 真司	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会産婦人科医会 ☎0985-22-5118
	医療倫理について 日本医師会 常任理事 渡辺 弘司	3 (1.0)	
	母体保護法に関わる法制について うえやま貴子クリニック 院長 上山 貴子	6 (1.0)	
第32回宮崎心エコー 研究会 (Web講習会) 2月8日(水) 19:00～20:15 第一三共宮崎営業所 ※受講はWebのみ	外科的三尖弁治療の新たな展開 宮崎大学医学部 外科学講座 心臓血管外科学分野 教授 古川 貢之 他	9 (1.0)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
Urology Premium Conference Miyazaki×Kago- shima (Web講習会) 2月8日(水) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル東 館2階「日向の間」 ※受講は現地また はWeb	過活動膀胱診療における留意すべき患者背景 旭川医科大学 腎泌尿器外科学講座 和田 直樹	65 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 アステラス製薬(株) 鹿児島市泌尿器科医会 宮崎県内科医会 鹿児島県内科医会
	高齢社会におけるOABの治療戦略 ～過活動膀胱診療ガイドライン「第3版」改定ポイント～ 中京病院 院長 後藤 百万	65 (0.5)	
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 2月10日(金) 18:50～20:10 キャトルセゾンマ ツイ ※受講は現地また はWeb	延岡市医師会病院における膠原病診断について 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 病院講師 宮内 俊一	61 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 エーザイ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	超高齢化社会の関節リウマチ診療について考える 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 准教授 梅北 邦彦	61 (0.5)	
第28回認知症サポ ート医・かかりつ け医スキルアップ 研修会 (Web講習会) 2月10日(金) 19:00～21:00 県医師会館 ※受講はWebのみ	脳外科医が必要とされるとき 上田脳神経外科 理事長・院長 上田 孝	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	脳神経内科医の立場でみる認知症診療 宮崎大学医学部附属病院 脳神経内科 副科長 杉山 崇史	29 (0.5)	
	精神科の立場から「改めて診る」 野崎病院認知症疾患医療センター 加藤 和男	29 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
IBD診療における鉄欠乏性貧血のWEBセミナー (Web講習会) 2月14日(火) 18:50~20:10 宮崎KITENビル 8Fコンベンションホール中会議室 ※受講はWebのみ	治療指針・診療ガイドラインに基づいた私の考えるクローン病の内科治療指針 ～クローン病に伴う鉄欠乏性貧血の対応を含めて～ 国家公務員共済組合連合会 千早病院 消化管・肝胆膵センター センター長 河内 修司	18 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ゼリア新薬工業(株) ☎080-4817-1873
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 (Web講習会) 2月14日(火) 19:00~20:00 未来創造ステーション ※受講は現地またはWeb	内科の先生に伝えたい妊産婦の管理 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 産婦人科学分野 教授 桂木 真司	71 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡内科医会 ◇共催 (株)ツムラ (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
西臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 2月14日(火) 19:00~20:00 延岡市コワーキングスペース ※受講はWebのみ	当院に於ける間質性肺疾患の治療について 宮崎県立延岡病院 内科 (呼吸器内科) 医長 天神 佑紀	45 (1.0)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※日本ベーリンガーインゲルハイム(株) ☎080-2229-9071

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
令和4年度自殺対策研修会 2月16日(木) 19:00~20:30 宮崎県小林保健所 2階多目的室	かかりつけ医等における高齢者の自殺予防について(仮) 宮崎大学医学部附属病院 精神科 医局長 船橋 英樹	70 (1.5)	◇主催 ※宮崎県小林保健所 ☎0984-23-3118
第19回在宅医療実践のための多職種協働研修会 (Web講習会) 2月16日(木) 19:00~20:30 宮崎市郡医師会館 会議室 ※受講は現地またはWeb	ターミナル期の利用者と家族への関わりについて ~最期まで希望を忘れず生き抜いた利用者~ 訪問看護ステーション 翔 管理者 佐師 マキ	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会地域 包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
令和4年度第3回 都城市CKD予防連携 医研修会 (Web講習会) 2月16日(木) 19:00~20:30 未来創造ステーション ※受講は現地またはWeb	都城市におけるCKD予想連携システムについて 都城市健康部健康課 保健相談担当 永山 美加	10 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 田辺三菱製薬(株)
	今知っておきたいCKD治療~新しい考え方とその実践~ 東京女子医科大学 腎臓内科(内科学講座腎臓内科学分野) 教授・基幹分野長 星野 純一	12 (0.5) 73 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
令和4年度介護保険に関する主治医研修会 (Web講習会) 2月17日(金) 18:30~21:30 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	主治医意見書 介護保険審査員の視点から 早稲田クリニック 院長 早稲田 真	80 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	地域・在宅医療における薬局薬剤師の現状と課題 宮崎県薬剤師会 常務理事 地域医療・保健委員会担当 橋本 勝史	13 (0.5)	
	高次脳機能障害と嚥下障害の臨床 潤和会記念病院 リハビリテーション科 部長 河野 寛一	49 (0.5)	
南那珂医師会生涯教育医学会 (Web講習会) 2月17日(金) 19:00~20:00 南那珂医師会館2階大ホール ※受講は現地またはWeb	糖尿病治療 UP-TO-DATE 2023 ~2型糖尿病治療のアルゴリズム~ 潤和会記念病院 糖尿病・代謝内科 部長 水田 雅也	76 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 住友ファーマ(株)
宮崎県内科医会学術講演会 (Web講習会) 2月17日(金) 19:00~20:15 アートホテル宮崎スカイタワー ※受講は現地またはWeb	NASH・NAFLDの診断と治療 ~どんな脂肪肝に注意が必要か~ 川崎医科大学 総合内科学2 准教授 川中 美和	73 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※アヅヴィ合同会社 ☎080-2194-6586

令和5年1月号において、2月17日(金)開催予定の「令和4年度介護保険に関する主治医研修会 (Web講習会)」の演題名、講師名に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第201回宮崎県眼科 医会講習会 2月18日(土) 16:30~18:50 宮崎観光ホテル東 館3階「翠耀の間」 開業医・勤務医 3,000円	専門医に紹介すべき神経眼科疾患とそのタイミング 北里大学 医療系研究科 視覚情報科学 教授 石川 均	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
	ガイドラインとEvidence Based Medicineとreal world 広島大学 医系科学研究科視覚病態学 教授 木内 良明	36 (1.0)	
西都市西児湯医師会 学術講演会 (Web講習会) 2月20日(月) 19:00~20:10 西都市西児湯医師 会館 ※受講は現地また はWeb	西都市でのICTを活用した医療介護連携の報告 ~Medical Care STATION~ 西都市西児湯内科医会 会長 富田医院 院長 富田 雄二	12 (1.0)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市西児湯内科医会
佐土原地区医師会 学術講演会 (Web講習会) 2月22日(水) 19:00~20:00 シーガイアコンベン ションホール ※受講は現地また はWeb	ツイミューグの可能性を考える 宮崎大学医学部附属病院 血液・糖尿病・内分泌内科学分野 上野 浩晶	76 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※住友ファーマ(株) ☎080-3341-4066
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 2月24日(金) 19:00~20:00 エンシティホテル 延岡 ※受講は現地また はWeb	ウイルス肝炎を中心とした慢性肝疾患の診療アップデート 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター センター長 永田 賢治	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎大学医学部附属 病院肝疾患センター ギリアド・サイエンシズ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第68回宮崎県スポーツ学会 3月11日(土) 15:20~19:00 JA-AZMホール	アスリートのメディカルサポート 国立スポーツ科学センター 副センター長 スポーツメディカルセンター センター長 中嶋 耕平	10 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

1月のベストセラー（宮崎県）

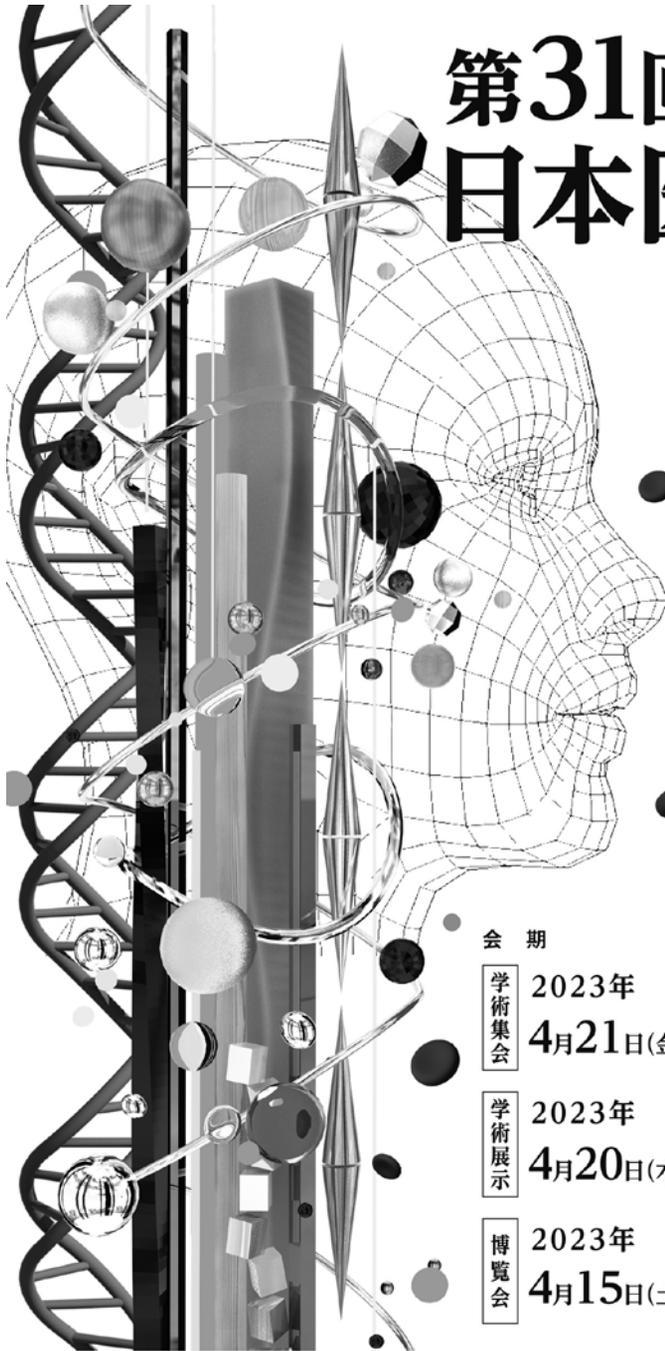
集計：2023年1月1日～1月21日

1 荒ぶるや	佐 伯 泰 英	文 春 文 庫
2 死は存在しない	田 坂 広 志	光 文 社 新 書
3 変な絵	雨 穴	双 葉 社
4 三千円の使いかた	原 田 ひ 香	中 公 文 庫
5 運動脳	アンデシュ・ハンセン	サンマーク出版
6 日本史を暴く	磯 田 道 史	中 央 新 書
7 バカと無知	橘 玲	新 潮 新 書
8 変な家	雨 穴	双 葉 社
9 人は話し方が9割	永 松 茂 久	す ば る 舎
10 かがみの孤城 [上]・[下]	辻 村 深 月	ポ プ ラ 文 庫

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985) 56-0868

第31回 THE 31ST GENERAL ASSEMBLY OF THE JAPAN MEDICAL CONGRESS

日本医学会総会



ビッグデータが拓く
未来の医学と医療

豊かな人生100年時代を求めて

会 期

学術集会 2023年
4月21日(金)～23日(日)

学術展示 2023年
4月20日(木)～23日(日)

博覧会 2023年
4月15日(土)～23日(日)

会 場 東京国際フォーラムおよび丸の内・有楽町エリア

会 頭 春日雅人 朝日生命成人病研究所長
国立国際医療研究センター名誉理事長

- 主催機関 1. 主 催 日本医学会
2. 実行機関 第31回日本医学会総会
3. 主務機関 東京大学医学部、東京医科歯科大学医学部、慶應義塾大学医学部、東京慈恵会医科大学、順天堂大学医学部、杏林大学医学部、昭和大学医学部、東京医科大学、東京女子医科大学、東邦大学医学部、日本大学医学部、日本医科大学、国立がん研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国立国際医療研究センター、国立成育医療研究センター、東京都医師会
4. 後援(予定) 日本医師会、日本歯科医師会、文部科学省、厚生労働省、環境省、経済産業省、国土交通省、総務省、東京都、日本放送協会(NHK)、日本病院会、日本看護協会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、東京新聞、共同通信社

事務局 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院中央診療棟2(8F)
TEL 03-5800-8971 FAX 03-5800-6412 E-mail office@isoukai2023.jp



第31回日本医学会総会
WEBサイト

診療メモ



点眼薬を処方する際の注意点

なか やま けい すけ
大塚小松台眼科 中山恵介

眼科医以外の先生におかれましても、日常診療の中で必要に応じて点眼薬を処方されることはよくあると思います。処方頻度の高い点眼薬として、①抗菌点眼薬、②抗アレルギー点眼薬、③ドライアイ点眼薬があげられるのではないのでしょうか。これらの点眼薬の処方にあたり、注意すべき点をまとめてみたいと思います。

まず①の抗菌点眼薬についてですが、すべての科における抗生剤使用に対する考え方と同様に、耐性菌の出現を防ぐため、ターゲットとなる病原微生物を特定したうえで対象にふさわしい薬剤を選択し、なるべく短期間にとどめて使用いただくことが重要となります。眼脂や結膜擦過物の培養により起因微生物を同定した後に抗菌点眼薬を選択するのが本来の流れですが、なかなか検体採取を行う余裕がないのが実情と思います。起因微生物が不明のまま点眼を開始する場合は、まずスペクトルの広い抗菌点眼薬（例えばニューキノロン系など）一種類のみで開始し、1週間ほど経過を観察してください。軽快がみられない場合は、耐性菌感染、もしくは真菌感染・ウイルス感染・アメーバ感染などの可能性があり、眼科における診察・加療が必要と考えられます。なお、点眼薬は局所使用と

いう性格上、内服や点滴などに比べダラダラと長期にわたって使用されがちですが、最近の研究では2週間の連続使用で眼表面に耐性菌が出現してくることが明らかになっています。短期間で効果を見定めていただき、治癒したら迅速に使用中止することが大切です。使用中止した後に症状が再燃する場合は、涙道（目頭から下鼻道に至る涙の排出路）などの慢性感染の可能性があるので眼科医に相談ください。また、角膜に白点などの異常所見を認める場合は感染性角膜炎を生じている可能性が高いため、急いで眼科を受診させてください。細菌性角膜炎の場合、2～3日で角膜穿孔を来し角膜移植や眼球摘出が必要となる症例もあります。

次に②の抗アレルギー点眼薬についてです。抗アレルギー点眼薬は大きくステロイド系と非ステロイド系に分けることが可能ですが、特にフルメトロンやリンデロンといったステロイド系点眼薬については注意して使用する必要があります。実は、われわれ眼科医が専門機器を用いて診察しても、アレルギー性結膜炎と感染性結膜炎の区別がつかないケースがあります。感染性結膜炎にステロイド系点眼薬を使用すると、自覚症状や所見がマスクされ、疾患の鑑別が困

難となりますので治療が後手後手になることがあります。抗菌点眼薬とステロイド系点眼薬を同時使用して症状がこじれた場合はなおさらですので、可能な限り併用は避けるのが賢明です。また、帯状疱疹や単純ヘルペス性の角結膜炎において、角膜障害がある患者様に対しステロイド系点眼薬を使用することは禁忌ですので、皮膚症状がある患者様についてはご注意ください。さらにステロイド系点眼薬は、眼圧上昇や白内障の進行を早めるなどの副症状もありますので、長期にわたり使用する際には眼科医の定期診察を入れてください。非ステロイド系点眼薬につきましては比較的安全かと思いますが、ソフトコンタクトレンズ装用者に対して使用すると、レンズに色素沈着や変性を来すものがあります。また、小・中・高校生のアレルギー性結膜炎は重症化して、角膜障害を生じることもありますのでよいタイミングで眼科受診をお勧めください。

最後に③のドライアイ点眼薬についてです。ドライアイの自覚症状は眼表面の乾燥感の他に、疼痛・ゴロゴロ感・異物感・シュパシュパする・眩しい・眼精疲労・眼脂・流涙など広範にわたるため、実際に角膜表面や涙層の安定性を確認してみないと診断するのが難しかったりします。いずれの症状につきましても、角結膜表面が乾燥のためにザラついているのが原因ですので、潤いをキープするための点眼薬がファーストチョイスとなります。ヒアルロン酸点眼液が一般的ですが、ドライアイの原因によっては逆に症状を増悪させることもあるので厄介で

す。また、リウマチに代表される膠原病症例のようにもともと角膜変性を来している可能性がある場合や、シェーグレン症候群のような涙液分泌が低下している症例につきましてはドライアイが重症化することも多く、点眼だけでは不十分なケースが多くあります。ヒアルロン酸点眼薬を開始してもなかなか自覚症状が改善しない症例につきましては眼科医にご相談くださるのが無難かと思われま

す。以上、非常に簡単にまとめてまいりましたが、点眼といえども意外に注意すべき点が多く、侮れないことが伝わりましたら幸いです。先生方が処方した点眼薬の効果がいまいちの場合は近くの眼科受診をお勧めください。よろしく願いいたします。

宮大医学部学生のページ



地域で医療をすること

宮崎大学医学部 医学科5年 とみ 富 なが 永 あおい 碧

昨年の11月から1か月間、西諸県地域で地域医療実習に参加いたしました。長い秋休みと学園祭が終わって、休みボケが抜けきらない中始まったクリニカル・クラークシップ（クリクラ）Ⅱの一発目が地域実習でした。私は県外出身ということもあって縁のない土地で1か月間もやっていけるのだろうか、不安な気持ちでスタートした実習でした。実習初日の朝は大学に集合して、県内各地に散らばる友達との最後の別れを惜しみ、先生方からは叱咤激励されるという壮行会さながらのオリエンテーションが行われました。そこで吉村教授からいただいた、「研修医0年目」「地元住みます医学生」としてなんでもいいから積極的にやるといいというアドバイスを胸に、どうせ行くのだから何でもやらせてもらおうと決心して小林市に向けて出発したのを覚えています。

初日こそ宮崎市内とは全く違うイントネーションに圧倒され、入学してからの5年間でせっかく慣れた方言が通用しないことに戸惑いました。毎日が初めて経験することの連続で、今までの実習ではないくらい頭をフル回転させてい

るうちに、あっという間に1か月間が過ぎてしまいました。実習期間中は毎日必死でしたが、振り返ってみると医学生・医療人としてだけでなく人としても少しは成長できたような、そんな非常に濃い1か月間であったと思います。今回このような機会をいただいたので、地域実習での1か月間の学びを振り返りながら共有させていただければ幸いです。

本当にたくさんのことを学びましたが、その中でもまずは、大学病院に来る患者さんが全体のほんの一部であるということを再認識できたことです。大学で実習する間にいつの間にか大学病院が特殊であるという意識が薄れていたのですが、この1か月間で、地域にはそれよりもずっと多くの患者さんがいるということを意識させられました。特に、小林市立病院の救急外来での実習中に搬送されてきた症例が印象的でした。この症例では搬送後の診察や検査を進め、最終的に大学病院へのドクターヘリ搬送が決まったのですが、ヘリ搬送の必要性を説明した際の患者さんの取り乱す様子を前にして自分の感覚がいつの間にか医療者の立場に偏って

いるということも突き付けられました。更に初期診療での適切な判断がいかに大切かということを目の当たりにし、大学での高度な救急医療が地域に支えられているということをあらためて実感しました。大学の中にいるだけでは分からない、宮崎の医療の姿を俯瞰的に知ることができた1か月間でした。

そしてもう一つ大きな成果は、自信と度胸がついたことです。実習先では常にバリエーションに富んだ「むちゃぶり」をしていただいて緊張と冷や汗の毎日でしたが、自信となったのは間違いありません。例えば、コロナワクチン集団接種のブースを任せていただいたり、採血や胃管挿入など大学ではほとんどやる機会のない手技をさせていただいたり、やりたいと言ったことをどんどん経験させていただきました。手技が身についたことももちろんですが、何よりも手厚く指導して下さる先生方やコメディ

カルの方々の温かさ、学生に針を刺されることを快諾して下さる地域の患者さんの親切さに何度も救われ、この気持ちに伝えられるよう努力しなければならないと強く思いました。

1か月間の実習を通して私は、入学試験の面接のときから何度も口にしてきた「地域で医療をする」ということばの意味を初めて理解できたような気がしています。実習期間中には、新型コロナウイルスの流行で病院の業務にまで影響が出るような状況にも直面したのですが、そのような中でも学生を医療チーム、そして地域の一員として受け入れてくださった実習機関や地域の皆さんへ本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、これほど地域実習が充実している大学はあまりないというお話も伺いました。恵まれた環境で実習できた経験を、これからの学生生活や医師になってからの人生に役立てられるよう精進します。



園田病院の外観



病院から見える霧島連山

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
12月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・季節性インフルエンザとの同時流行を想定した外来医療体制等を踏まえた新型コロナウイルス抗原検査キットの発注等について（前回事務連絡の一部改正） ・新型コロナウイルス感染症対策医療機関向けガイドラインの改訂について ・ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて ・年末年始も見据えた保健・医療提供体制の確保及び救急医療のひっ迫回避等のための取組について ・新型コロナウイルス感染症重点医療機関における看護職員の欠勤者数の公表及びG-MISの日次調査項目の一部変更について（お知らせ） ・新型コロナウイルス感染症の予防接種に係る集合契約の変更契約の締結について ・令和4年度における感染対策のための実地研修に係る三次募集について ・年末年始の新型コロナウイルス感染症の検査体制等について（通知） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」（自治体向け）の改訂について（13.2版） ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて（一部改正） ・文部科学省発出「『年末年始の感染対策についての考え方』について」の送付について（情報提供） ・新型コロナウイルス感染症の感染急拡大時の外来診療の対応について（通知） ・抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について ・令和4年12月17日からの大雪による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・令和4年12月17日からの大雪による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・感染症サーベイランスシステムのアカウント申請について ・「医療関連サービスマーク認定事業者・施設データブック2023年版」の送付について ・文部科学省作成「生徒指導提要（改訂版）」に係る周知について（情報提供） ・令和4年度特定行為研修周知事業研修会について（依頼） ・FortiOSに関する脆弱性情報への対応について（注意喚起） ・信用保証協会によるセーフティネット保証5号の指定期間延長について（情報提供） ・令和4年度第2回医療政策研修会及び第2回地域医療構想アドバイザー会議の開催について ・コミュニティ・メディカルセンター教授の推薦について（依頼） ・リソカブタゲン マラルユーセル及びアキシカブタゲン シロルユーセルの最適使用推進ガイドラインの一部改正について
12月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の「介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算処遇改善計画書」に係る提出期限について ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコバ錠 125mg）の医療機関及び薬局への配分について

送付日	文 書 名
12月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン資格確認等システム導入の経過措置等要望のためのアンケート調査ご協力の御礼とデータの送付について ・ネットワーク機器（FortiOS）に関する脆弱性情報への対応について（注意喚起） ・令和4年12月17日からの大雪による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・旧優生保護法一時金に係る周知広報への協力について ・第6回 日本医療研究開発大賞の周知について（依頼） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その35）」の送付について ・令和5年「はたちの献血」キャンペーンの実施について（依頼）
1月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年12月22日からの大雪による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・令和4年12月22日からの大雪による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について ・令和4年12月22日からの大雪による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和4年12月22日からの大雪に伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その2） ・オンライン資格確認の導入の原則義務付けに係る経過措置について ・中医協答申書について（医療DXの基盤となるオンライン資格確認の導入の原則義務付けに係る経過措置、医療情報・システム基盤整備体制充実加算の取扱い及び医薬品の安定供給に係る取組の推進に向けた診療報酬上の加算の取扱いについて） ・医療機関における年末年始の情報セキュリティに関する注意喚起 ・検査料の点数の取扱いについて ・オンライン請求医療機関に対する返戻再請求のオンライン化に関する周知広報資料の送付について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・新型コロナウイルス感染症・季節性インフルエンザ同時期流行に備えた高齢者施設等の入所者に対する同時検査キットの利用環境の整備について ・高齢者施設等におけるオミクロン株に対応した新型コロナワクチン接種の更なる促進及び進捗状況の実態調査結果について ・新型コロナウイルス感染症に係る医療機関への依頼等について（通知） ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第6版）」の周知について ・第31回日本医学会総会における産業医セッションのサテライト会場開催の周知について ・モデルナ社のオミクロン株対応ワクチンの配送等について ・文部科学省発出「学校での結核検診における結核高まん延国の変更について」の送付について・「高齢者施設等における施設内療養に関する更なる追加的支援策の対象拡大及び期間延長について（その4）」について ・年末年始を見据えた国民の皆様への呼びかけについて（周知のお願い） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その36）」の送付について ・抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤（イミフィンジ点滴静注120mg及び同点滴静注500mg）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について

送付日	文 書 名
1月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・カルケンスカプセル100mg, ガザイバ点滴静注1000mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・公知申請に係る事前評価が終了し, 医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬(パキロビッドパック)の医療機関及び薬局への配分について(別紙, 質疑応答集の改正) ・令和4年12月31日に発生した土砂崩れに伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について ・新型コロナウイルス感染症・季節性インフルエンザ同時期流行下における新型コロナウイルスに係る抗原定性検査キットの販売対応の強化について ・日本医師会のホームページ並びに公式YouTubeチャンネルへのリンクのご依頼について
1月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本学校保健会が主催する研修会の開催について(依頼) ・令和4年山形県鶴岡市の土砂崩れによる災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・訪問看護レセプト(医療保険請求分)の電子化について
1月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・医療用解熱鎮痛薬等の安定供給に関する相談窓口の設置及び協力依頼
1月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業第71回報告書の公表について ・令和5年度税制改正について ・令和5年4月1日以降の全国医師会研修管理システムにおけるカリキュラムコードの入力について(ご連絡) ・令和4年山形県鶴岡市の土砂崩れによる被災者に係る各種母子保健サービスの取り扱いに等について ・母子保健法施行規則の一部を改正する省令の公布及び母子保健法施行規則第七条の厚生労働大臣が定める様式の一部を改正する件の告示について ・「宗教の信仰等に関する児童虐待等への対応に関するQ&A」について ・「令和3年介護サービス施設・事業所調査の概況」送付について ・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置, 搬送, 葬儀, 火葬等に関するガイドライン」の改正について(周知)
1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その37)」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その38)」の送付について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その39)」の送付について ・共済組合員証の無効通知について ・フォシーガ錠5mg及び同錠10mgの保険適用に係る留意事項の一部改正について ・「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」(日本医療機器産業連合会)の改定について ・再編計画の認定制度に関する「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の一部の施行について(通知)」の一部改正等について

送付日	文 書 名
1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省発出「労働基準法施行規則の一部を改正する省令等の施行について」の送付について（情報提供） ・「介護保険施設等運営指導マニュアルの一部改正について（通知）」について ・文部科学省作成「学校における集団フッ化物洗口について」の送付について（情報提供） ・新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスの同時検査キットの流通の確保について ・Withコロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて（一部改正） ・ウガンダ共和国におけるエボラ出血熱の終息宣言（情報提供） ・季節性インフルエンザ同時流行に備えた体制整備に係る医療用物資（感染防護具）の配布について（4回目）（通知） ・「PHR活用に向けた医師宛アンケート」のご協力依頼について ・令和4年度厚生労働省委託事業「外国人患者受入れ医療コーディネーター養成研修」のご案内につきまして ・電子処方箋の仕組みの創設に関する改正法の施行期日を定める政令等の公布について ・出産・子育て応援交付金事業への協力について（依頼） ・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」の改訂について（9.0版）
1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・共済組合員証等の無効について ・集団指導用eラーニングコンテンツの日医ホームページへの掲載について ・日本医師会・日本がん登録協議会共催シンポジウム「がん登録データと個人情報保護」の開催について ・厚生労働省委託事業令和4年度「医療情報セキュリティ研修及びサイバーセキュリティインシデント発生時初動対応支援・調査事業」に関する周知について ・新型インフルエンザ等に係る「特定接種管理システム」の登録の有効期限満了に伴う手続きについて ・令和4年山形県鶴岡市の土砂崩れによる災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和4年度第2回産業医Web研修会の開催について ・「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律」の公布について
1月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その40）」の送付について ・共済組合員証の無効通知について ・医療用解熱鎮痛薬等の在庫逼迫に伴う協力依頼 ・アプロシチニブ製剤の最適使用推進ガイドライン（既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎）の一部改正について ・第2回「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業」接種医療機関向け研修会の開催について（通知） ・医療機関・健康フォローアップセンターからの日次報告の方法について（再周知） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ゾコーバ錠125mg）の医療機関及び薬局への配分について（一部改正）

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら

 公益社団法人
日本医師会 年金福祉課

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料	受給年金
●基本：月払 加算：月払	●81コース
加算年金 (10万円) 60,000円	加算年金 保証期間15年 64,600円 終身
基本年金 月払保険料 12,000円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
支払期間 19年 2ヶ月 (230期)	加算年金 5年確定型 276,500円
合計月払保険料 72,000円	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
	15年受取総額 13,950,000円
	●82コース
設定条件をご確認ください。	加算年金 5年確定型 276,500円
試算日 令和2年9月10日	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
生年月日 昭和50年1月1日	加算年金 15年確定型 289,400円
試算日年齢 45歳	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
加入申込期間 令和2年10月15日	15年受取総額 18,912,000円
加入予定年月 令和2年11月	●83コース
加入時年齢 45歳10ヵ月	加算年金 10年確定型 143,400円
加算払込開始年月 令和2年11月	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
年金受取開始年月 令和22年1月	15年受取総額 19,530,000円
年金受取開始年齢 65歳	●84コース
払込保険料累計 16,560,000円	加算年金 15年確定型 291,300円
	基本年金 保証期間15年 12,900円 終身
注意事項です。お読みください。	15年受取総額 20,160,000円
・加入申込期間は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。	
・「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることができます。	
・「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。	
・「受取コースの選択(国へ割)」は、受取開始の時に選択する必要があります。	
・受取開始年齢は、75歳まで延長できます。	
・「受取年金月額」は概算です。現在は年率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。	

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp



あとかき



実習の2年目となるクリクラⅡが、昨年11月から始まりました。最初の1か月は大学病院のNICU(以下N)でお世話になりました。Nでの目標を「研修医の下地を作ること」と設定し、1ミリでも知識を吸収するつもりで日々の実習に臨みました。実際のNの実習では、先生方が蘇生や手技を行う際のお手伝い、回診の際の担当症例のプレゼン、カンファでのカルテ記載などをさせていただきました。学生というよりも一人の戦力として扱っていただけたような気がして、毎日実習に行くのが楽しみで仕方ありませんでした。また、マイクロバブルテストやApt試験、新生児診察、エコーなどの貴重な経験もさせていただきました。そのおかげか、今まで国試の問題を見ても単調な文字情報としてしか受け取れなかったものが、映像として目の前に浮かんでくるようになりました。Nの先生方には「目で見ること」や「経験すること」の大切さを繰り返し教えていただいたように思います。終わってみればあつという間の1か月でしたが、最初の目標など霞むくらいに大切なことを沢山教えていただきました。日々の学び方や医師としての在り方、そして何より医療に携わることの楽しさを先生方の後ろ姿から学べたことが、この1か月の最大の成果だったと思います。Nの先生方もお読みになるかもしれないので、この場を借りてお礼申し上げます。この経験をガソリンにして、残りの実習期間と国試を全力で駆け抜けたいと思います。(平井)

* * * * *

回転ずしでの悪質動画撮影がニュースになっております。「人の注文食べちゃいました」や「他人握りわざび乗せ」などの気持ちの悪い動画です。迷惑系TikTokerの作業だそうですが、これも閲覧数を増やせば収入になるのでしょうか。金が稼げるのでまた迷惑行為を繰り返すことは自明です。動画投稿サイトには有用なコンテンツもありますが、しかし、犯罪を放置するのは違うと思います。はま寿司はキッチリと偽計業務妨害罪で訴えていただきたい。(菊池)

* * *

今年は前厄であり、1月2日に宮崎神宮へ厄除けに参りました。しかし、2日後の今年初出勤時の抗原検査で陽性が出て、1週間以上自宅療養となってしまいました。厄年の怖さを改めて実感しました。今年の干支は「癸兔」で、水と兔がテーマの年です。一葉稲荷神社には、350年前の大地震で神社が津波に飲み込まれそうになった際、一羽の白兔が波を蹴って救ったという言い伝えがあります。本殿裏には、波を蹴る小さな兔の彫刻があり、まさに癸兔の年に行くべき運氣上昇スポットだそうで、ぜひ今度お参りに行きたいと思っています。(植田)

* * *

年末から年始にかけ、新型コロナウイルス感染症のいわゆる「第8波」の影響で、クリニックはかなりの忙しさでした。昨年までと違った点として、今年はインフルエンザの同時流行もみられましたが、インフルエンザにおいてはタミフルを始めとする治療薬の存在が大きいと感じました。現在コロナ第8波もだいぶ収まってきましたが、これから花粉シーズンに突入します。インフルエンザ患者も引き続きみられており、しばらくは多忙な日々が続きそうです。

(長井)

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。初詣は1月3日に一葉稲荷神社に参拝しました。本殿裏には兔の飾りがあり、その昔、兔が波を蹴って津波を防いだと伝えられ、開運や厄除けのご利益があるそうです。そちらにもご挨拶をしました。新型コロナもインフルエンザも増加し大変な年明けとなりましたが、心身ともに健康で安全安心に診療ができるようにご利益を期待したいと思います。(横山)

今年もよろしくお祈りします。初詣は1月3日に一葉稲荷神社に参拝しました。本殿裏には兔の飾りがあり、その昔、兔が波を蹴って津波を防いだと伝えられ、開運や厄除けのご利益があるそうです。そちらにもご挨拶をしました。新型コロナもインフルエンザも増加し大変な年明けとなりましたが、心身ともに健康で安全安心に診療ができるようにご利益を期待したいと思います。(横山)

今年もよろしくお祈りします。初詣は1月3日に一葉稲荷神社に参拝しました。本殿裏には兔の飾りがあり、その昔、兔が波を蹴って津波を防いだと伝えられ、開運や厄除けのご利益があるそうです。そちらにもご挨拶をしました。新型コロナもインフルエンザも増加し大変な年明けとなりましたが、心身ともに健康で安全安心に診療ができるようにご利益を期待したいと思います。(横山)

今年もよろしくお祈りします。初詣は1月3日に一葉稲荷神社に参拝しました。本殿裏には兔の飾りがあり、その昔、兔が波を蹴って津波を防いだと伝えられ、開運や厄除けのご利益があるそうです。そちらにもご挨拶をしました。新型コロナもインフルエンザも増加し大変な年明けとなりましたが、心身ともに健康で安全安心に診療ができるようにご利益を期待したいと思います。(横山)

(山本)

令和4年度の宮崎県医師国保組合の決算の概略がでました。それによると保険給付費は令和元年度に比べ2割ほど少ないままです。コロナ禍が始まって3年にもなるのに受診抑制が続いており、多くの医療機関にとってなお厳しい状況です。春からは新型コロナウイルス感染症分類が2類から5類に見直されるとのことですので、状況が好転することを願っています。(佐々木)

(佐々木)

今月のトピックス

日州医談 地域医療構想・第8次医療計画の動向を考える

地域医療構想の動向について宮崎県医師会常任理事の池井義彦先生に書いていただきました。「かかりつけ医」という言葉は昔からありますが、「官定義のかかりつけ医」になればさまざまな義務（内容的にさほど有用とは思えない講習会受講）や制限（在宅医療や夜間休日対応の義務など）が課されそうで個人的には警戒モードです。

4 ページ

新春随想

今年もたくさんのご投稿をいただきました。先月号と分けて掲載させていただいています。趣味の話や家族のこと、日常の小話、時事問題など、盛りだくさんで楽しく読ませていただきました。

6 ページ

診療メモ 点眼薬を処方する際の注意点

点眼薬を処方する際の注意点について、大塚小松台眼科の中山恵介先生に教えていただきました。点眼薬治療の基本的な考え方や感染性角膜炎やヘルペス性の角結膜炎など、内科でも日常診療で遭遇しそうな注意すべき疾患に関して教えていただきました。普段、深く考えずに漫然と点眼薬を処方することもありました。ぜひ、今後の参考にさせていただきたいと思います。

60ページ

宮大医学部学生のページ 地域で医療をすること

地域医療実習について医学部5年生の富永碧さんに書いていただきました。学生時代に1か月間も地域実習があることに驚きました。宮崎県は面積も広く、山間地域も数多くあり、地域医療の充実は喫緊の課題です。大学などでの先進的な医療も大切ですが、地域医療も同じくらいかそれ以上に重要なものだと思います。充実した経験にしてください。

62ページ

日 州 医 事 第882号 (令和5年2月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,

長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 平井 昂也, 安藤菜々子, 鍛治川雄登, 山本 樹

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)